

人と技術で次代を拓く

**MEITEC**

メイテックグループ

## 2015年3月期 決算説明会

---

2015年5月12日  
株式会社メイテック  
代表取締役社長  
グループCEO  
國分 秀世

1. 2015年3月期 業績
2. 中期経営計画の進捗状況
3. 2016年3月期 業績予想
4. ご参考資料

- 私からは、  
2015年3月期の業績、  
中期経営計画の進捗状況、  
2016年3月期の業績予想、  
の3項目を説明させていただきます
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください

## 1. 2015年3月期 業績

人と技術で次代を拓く  
**MEITEC**  
メイテックグループ

- まず、2015年3月期の業績を説明します

## 2015年3月期業績 グループ連結

- ✓ 主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続された為、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比9.7%の増収、営業利益は36.7%の増益
- ✓ 約△36億円の特別損益や税率変更影響により、当期純利益は前期比△7.9%減益

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年3月期 公表予想	予想比 増減額
売上高	74,906	82,136	+7,230	+9.7%	80,400	+1,736
売上原価	55,370	60,481	+5,110	+9.2%	59,300	+1,181
原価率	73.9%	73.6%	▲0.3%			
販売管理費	12,556	12,114	▲441	▲3.5%	12,600	▲485
営業利益	6,979	9,540	+2,561	+36.7%	8,500	+1,040
営業利益率	9.3%	11.6%	+2.3%		10.6%	▲1.0%
経常利益	6,978	9,643	+2,664	+38.2%	8,600	+1,043
特別損益	△145	△3,601	▲3,456			
税金等調整前当期純利益	6,832	6,041	▲791	▲11.6%		
当期純利益	3,973	3,659	▲313	▲7.9%	3,400	+259
当期純利益率	5.3%	4.5%	▲0.8%			
自己資本当期純利益率(ROE)	10.7%	9.9%	▲0.8%			
総資産経常利益率(ROA)	11.7%	15.2%	+3.5%			

7

- グループ連結の業績概要です。
- 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続される企業が多く見られた事から、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比9.7%増収の821億36百万円、営業利益は36.7%増益の95億40百万円、経常利益は38.2%増益の96億43百万円となりました。
- 第2四半期に大型研修施設などの利用停止を決定した事を主因に、約36億円の特別損益を計上しました。
- 加えて、法人税の税率変更に伴う繰延税金資産の取り崩しの影響額は約6億円となりました。
- この結果、当期純利益は、前期比7.9%減益の36億59百万円となりました。

## 2015年3月期業績 グループ・セグメント

- ✓ 引き続き連結売上高の9割超を占める派遣事業が業績をけん引
- ✓ エンジニアに特化した紹介事業も増収増益、エンジニアリングソリューション事業は黒字転換

グループ・セグメント (百万円)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
派遣事業 売上高	72,486	79,346	+6,860	+9.5%
構成比	96.8%	96.6%	▲0.2%	
営業利益	6,809	9,145	+2,336	+34.3%
紹介事業 売上高	1,011	1,340	+328	+32.4%
構成比	1.4%	1.6%	+0.3%	
営業利益	183	387	+203	+111.1%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	1,563	1,657	+94	+6.0%
構成比	2.1%	2.0%	▲0.1%	
営業利益	▲21	12	+33	—

※2015年3月期 第1四半期より事業セグメントの区分を変更し、従来の「グローバル事業」は「紹介事業」に含めております。  
また、2014年10月1日付で当社の連結子会社である株式会社メイテックCAEを吸収合併したことに伴い「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたCAEの経営成績を「派遣事業」に含めて表示しております。  
よって、前年同期比は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

8

- グループ・セグメント別の業績です。
- 連結売上高の9割超を占める派遣事業の売上高は前期比9.5%増収、営業利益は34.3%増益、となりました。
- 紹介事業の売上高は前期比32.4%増収、営業利益は111.1%増益、となりました。
- エンジニアリングソリューション事業は黒字に転換しました。



## 2015年3月期業績 メイテック

- ✓ 売上高は前期比9.8%増収の646.75億円(過去最高)、営業利益は37.8%増益の79.25億円
- ✓ 約33億円の特別損益や税率変更影響により、当期純利益は前期比△2.5%減益の33.40億円

メイテック (百万円)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年3月期 公表予想	予想比 増減額
売上高	58,876	64,675	+5,799	+9.8%	63,600	+1,075
売上原価	43,742	47,857	+4,115	+9.4%	47,300	+557
原価率	74.3%	74.0%	▲0.3%		74.4%	+0.1%
販売管理費	9,382	8,891	▲490	▲5.2%	9,200	▲308
営業利益	5,751	7,925	+2,173	+37.8%	7,100	+825
営業利益率	9.8%	12.3%	+2.5%		11.2%	▲1.1%
経常利益	6,149	8,438	+2,288	+37.2%	7,600	+838
特別損益	△ 372	△ 3,349	▲2,977			
税引前当期純利益	5,776	5,089	▲687	▲11.9%		
当期純利益	3,425	3,340	▲85	▲2.5%	3,300	+40
稼働率(全体)	94.7%	96.1%	+1.4%		95.4%	+0.7%
稼働時間(h/day)	8.93	8.93	—	—	8.93	—
採用数<名>	599	559	▲40	▲6.7%	578	▲19
新卒採用数	379	378	▲1	▲0.3%	378	—
中途採用数	220	181	▲39	▲17.7%	200	▲19
退職率	4.0%	3.5%	▲0.5%		4.3%	▲0.8%
期末エンジニア社員数<名>	5,860	6,299	+439	+7.5%		

9

- メイテック単体の業績概要です。
- 稼働人員数の増加を主因として、売上高は前期比9.8%増収、過去最高の646億75百万円、営業利益は37.8%増益の79億25百万円、経常利益は37.2%増益の84億38百万円となりました。
- 研修施設関連の減損損失などで約33億円の特別損益を計上、加えて、6億円弱の繰延税金資産の取り崩しの影響があり、当期純利益は前期比2.5%減益の33億40百万円となりました。
- 下段の主要指標については、のちほど説明します。

## 2015年3月期業績 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比12.5%増収の119.11億円(過去最高)、営業利益は25.4%増益の10.73億円
- ✓ 期末エンジニア社員数は前期比9.7%増の1,601名

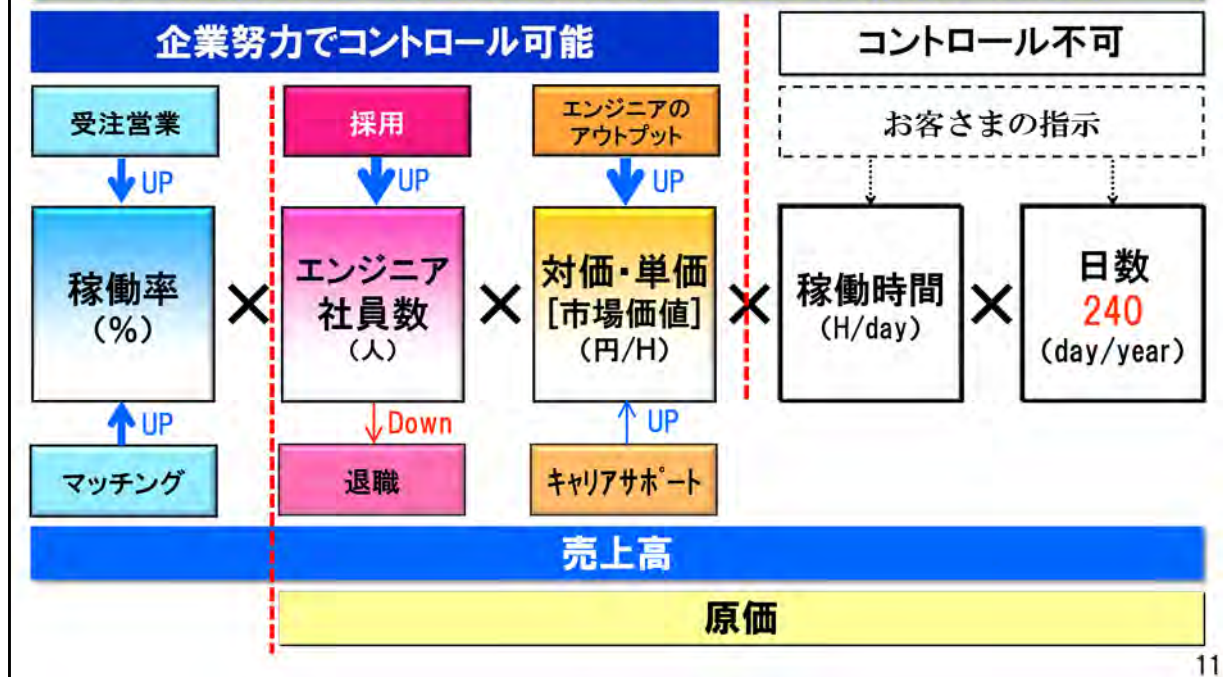
メイテックフィルダース (百万円)	'14年3月期 実績	'15年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年3月期 公表予想	予想比 増減額
売上高	10,587	11,911	+1,323	+12.5%	11,650	+261
売上原価	8,084	9,154	+1,069	+13.2%	9,000	+154
原価率	76.4%	76.9%	+0.5%		77.3%	+0.4%
販売管理費	1,646	1,682	+36	+2.2%	1,650	+32
営業利益	856	1,073	+217	+25.4%	1,000	+73
営業利益率	8.1%	9.0%	+0.9%		8.6%	▲0.4%
経常利益	841	1,074	+232	+27.6%	1,000	+74
特別損益	0	△5	▲5			
税引前当期純利益	841	1,068	+227	+27.0%		
当期純利益	483	648	+165	+34.1%	650	▲1
稼働率(全体)	95.2%	96.0%	+0.8%		94.9%	+1.1%
稼働時間(h/day)	9.03	9.04	+0.01	+0.1%	9.03	+0.01
採用数(名)	291	282	▲9	▲3.1%	288	▲6
新卒採用数	167	173	+6	+3.6%	173	—
中途採用数	124	109	▲15	▲12.1%	115	▲6
退職率	7.8%	8.5%	+0.7%		9.1%	▲0.6%
期末エンジニア社員数(名)	1,460	1,601	+141	+9.7%		

10

- メイテックフィルダース単体の業績概要です
- 稼働人員数の増加を主因として、  
売上高は前期比12.5%増収、  
過去最高の119億11百万円、  
営業利益は25.4%増益の10億73百万円、  
当期純利益は34.1%増益の6億48百万円、  
となりました。
- 下段の主要指標については、のちほど説明します。

## エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

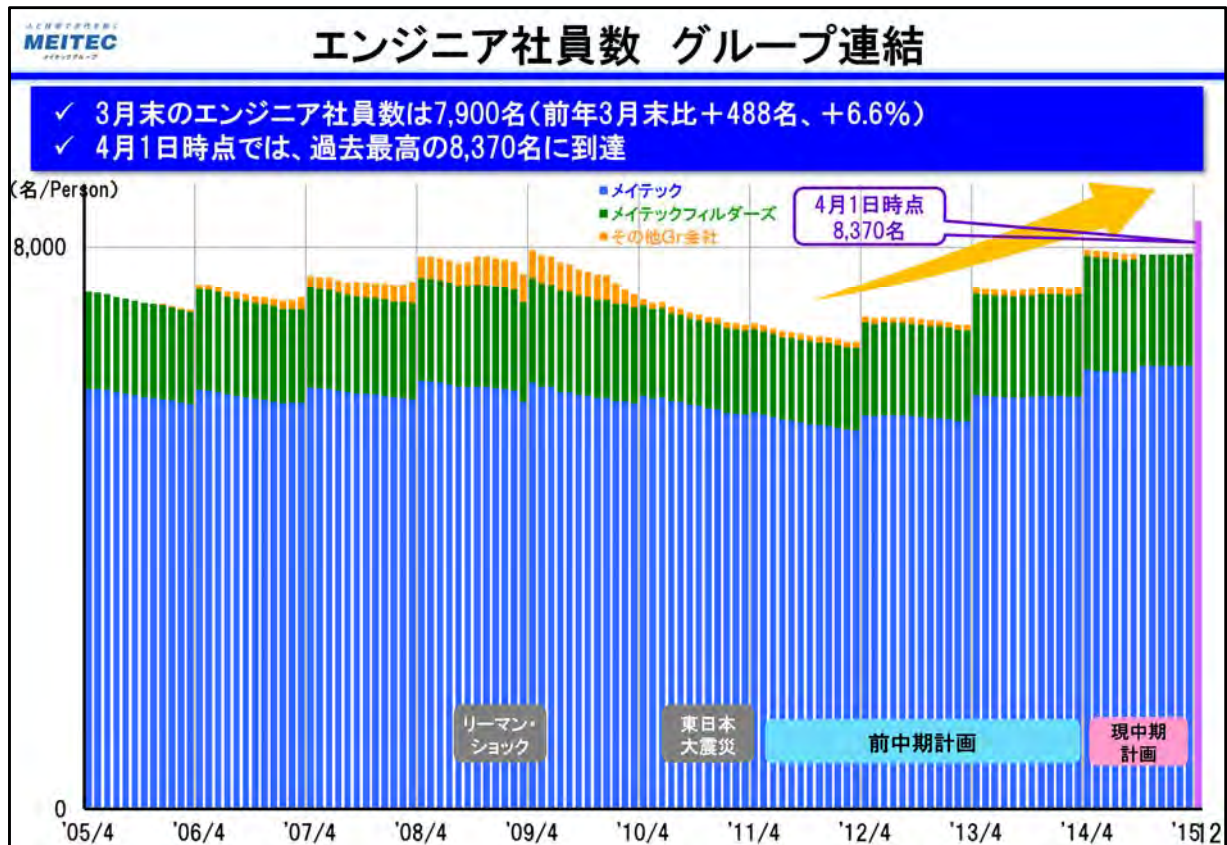
✓ 無期雇用・正社員エンジニアの派遣事業では、  
高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



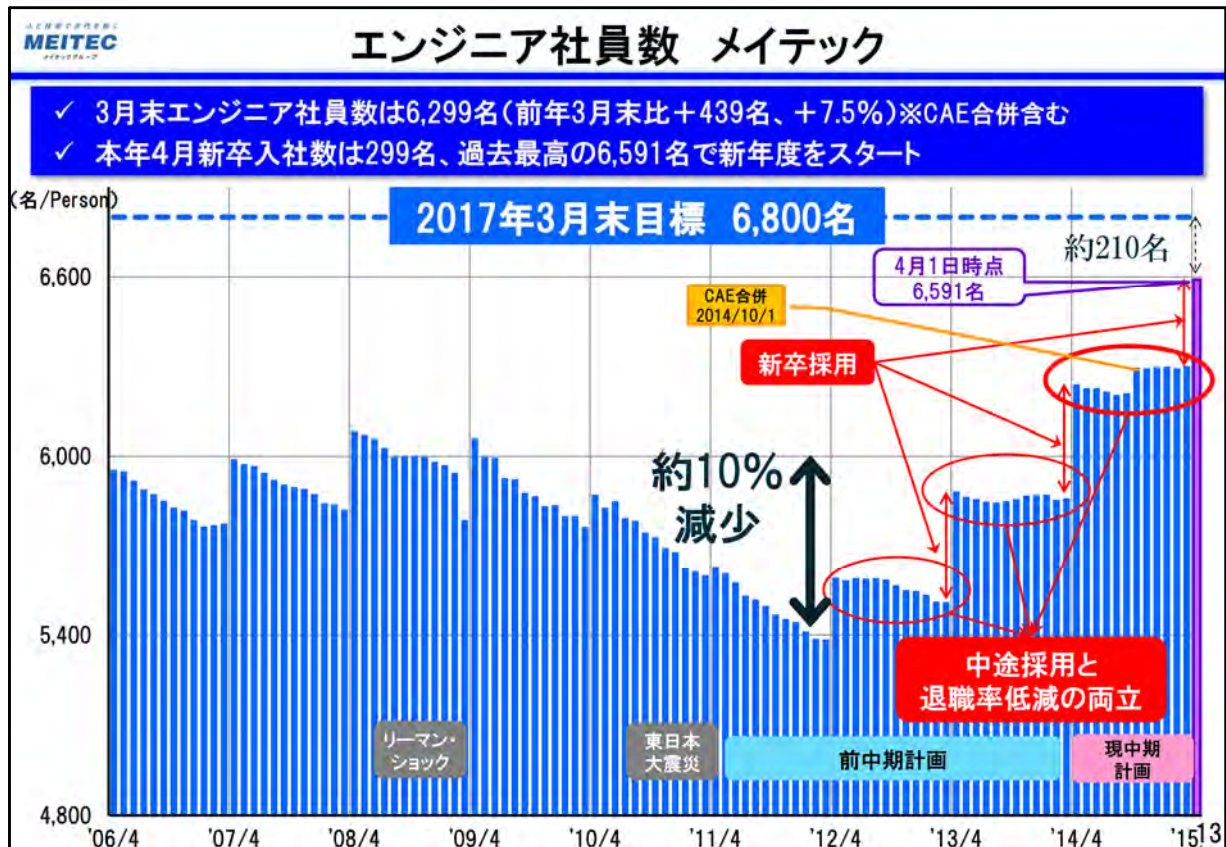
11

- 無期雇用・正社員エンジニア派遣事業の売上高・原価の構成要素の概要です。
- 2014年度は、稼働率が高い水準で推移し、エンジニア社員数も増員できたことから増収増益となりました。





- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は7,900名で、前年3月末比+488名、増加率は+6.6%でした。
- また、4月1日のエンジニア社員数は、過去最高の8,370名に到達しました。



- メイテックのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は6,299名で、前年3月末比+439名、増加率は+7.5%でした。
- この増加には、昨年10月に子会社メイテックCAEを合併した影響を含んでいます。
- また、4月1日に299名の新入社員を迎え、社員数は過去最高の6,591名となりました。
- 中期計画の2017年3月末のエンジニア社員数の目標6,800名まで、あと約210名です。

## エンジニア社員数 メイテックフィルダーズ

- ✓ 3月末エンジニア社員数は1,601名(前年3月末比+141名、9.7%)
- ✓ 本年4月新卒入社数は175名、過去最高の1,779名で新年度をスタート

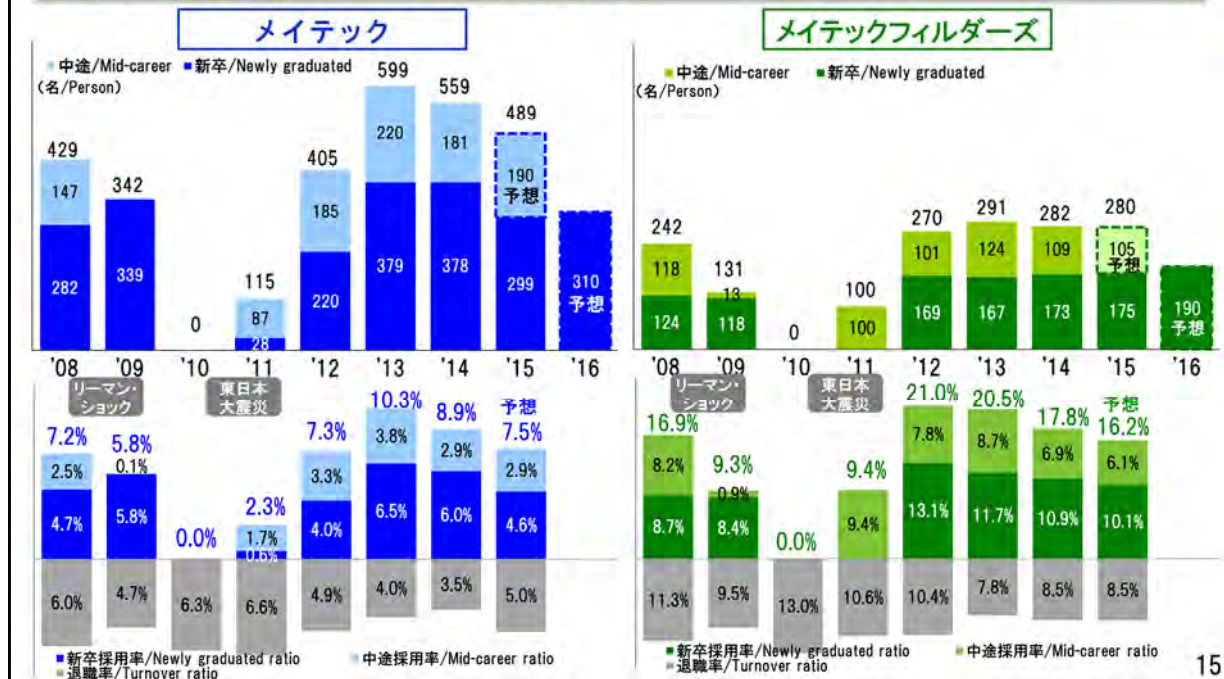


- メイテックフィルダーズのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は1,601名で、前年3月末比+141名、増加率は+9.7%でした。
- また、4月1日に175名の新入社員を迎え、社員数は過去最高の1,779名となりました。
- 中期計画の2017年3月末のエンジニア社員数の目標1,900名まで、あと約120名です。



## 採用と退職

- ✓ 採用環境は厳しいが、採用基準は下げない
- ✓ 退職率は過去最低水準へ低下⇒増員に寄与



- 採用と退職の推移です。
- 上段のグラフは採用人数、  
下段のグラフは採用率と退職率、です。
- 直近の実績ですが、メイテックでは、採用率8.9%、退職率3.5%となり、採用の方が  
+5.4%上回り、3年連続で増員となりました。
- メイテックフィルダースも、採用率17.8%、退職率8.5%となり、採用の方が  
+9.3%上回り、同じく3年連続で増員となりました。
- 2015年度の予想は、のちほど説明します。



## 2015年3月期の採用実績

### 中途採用(2015年3月期)

- ✓ 受注動向に即した機械系・電気電子系を中心として、採用基準を保持し、円滑な配属を前提に活動
- ✓ メーカーのエンジニア採用意欲の高まりを背景に、採用環境の激化、応募者数確保に苦戦
- ✓ 採用者数は、メイテックは期初予想比▲49名の181名、メイテックフィルダーズは期初予想比▲16名の109名となった

### 新卒採用(2015年4月入社)

- ✓ 応募者の確保に苦戦しつつも、採用基準の保持を前提に活動
- ✓ 求人企業数増・募集人員増に見られる求人意欲の上昇に加えて、活動の早期化や強い地元志向など、極めて厳しい採用環境
- ✓ 採用者数は、メイテックは期初予想比▲101名の299名、一方、メイテックフィルダーズは期初予想どおりの175名となった

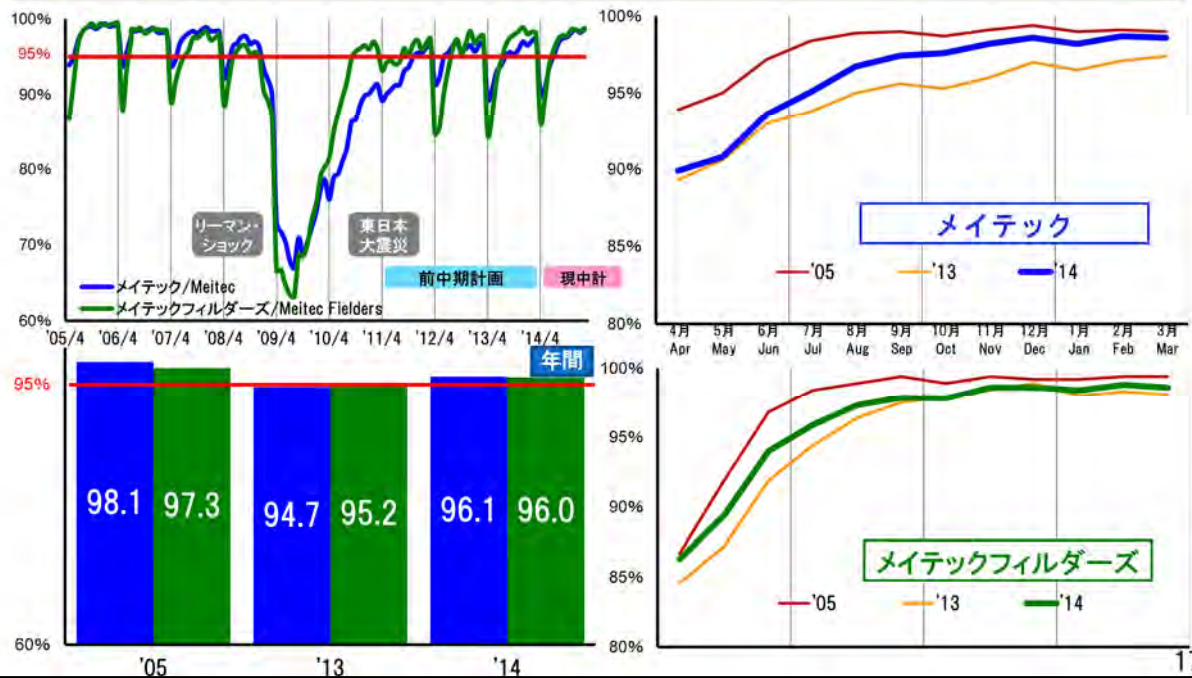
(名)	2015年3月期(2014年度)							2016年3月期(2015年度)					
	14年4月入社 新卒採用数	中途採用数				採用数 合計	前期比	15年4月入社新卒採用数					
		期初予想	11/6公表予想	実績	前期予想比			11/6公表比	期初予想	11/6公表 内定見込数	実績	前期予想比	11/6公表比
メイテック	378	230	200	181	▲49	▲19	559	▲40	400	309	299	▲101	▲10
メイテック フィルダーズ	173	125	115	109	▲16	▲6	282	▲9	175	176	175	—	▲1
合計	551	355	315	290	▲65	▲25	841	▲49	575	485	474	▲101	▲11
14年3月期比	+5	+11	▲29	▲54			▲49						

16

- 2015年3月期の採用実績です。
- 中途採用も、今年4月入社の新卒採用も、どちらも大変厳しい状況でした。
- このような状況の中、メイテックは「質を重視」して採用に取り組んでできました。
- 新卒・中途ともに、昨年5月公表の目標数を昨年11月に引き下げましたが、残念ながら実績はそれを下回る採用数となりました。
- 採用市場はますます厳しくなっていますが、今後の見通しは、のちほど説明します。

## 稼働率

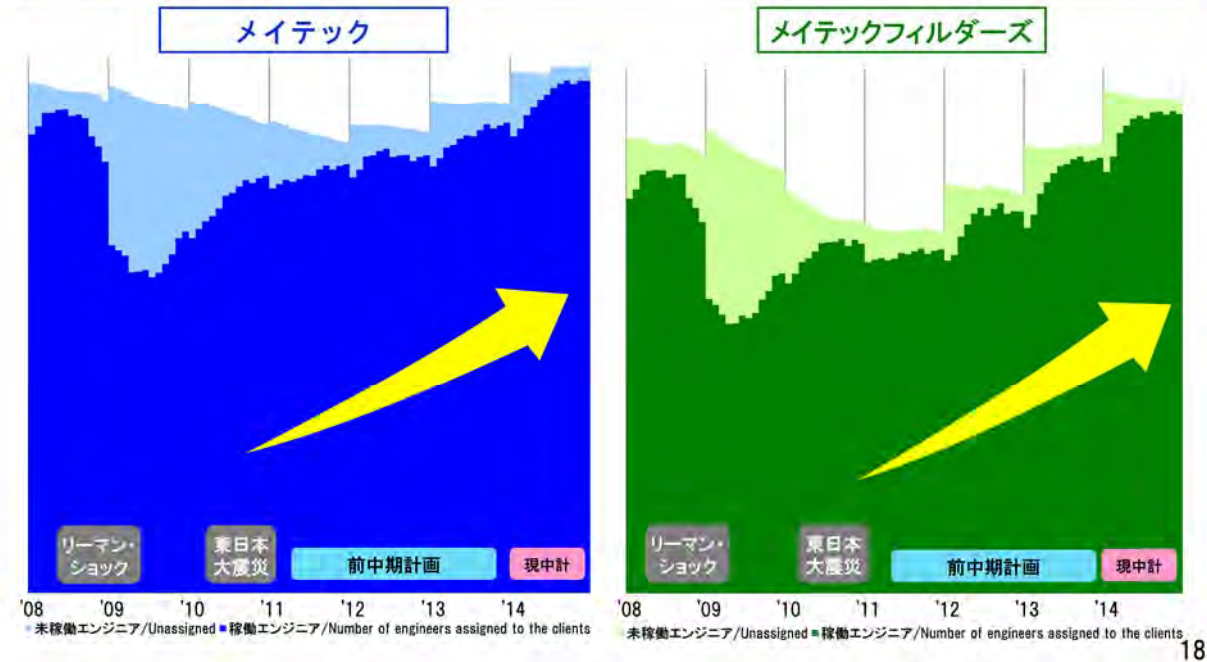
✓ 堅調な受注環境の下、配属が順調に進み、稼働率は高水準



- 稼働率の推移です。
- 稼働率が95%を超えているとおおむね好調、と判断してきました。
- メイテック、メイテックフィルダーズともに、配属が順調だったため、稼働率は年間通して前年度を上回る高い水準で推移しました。

## 稼働人員数(売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長

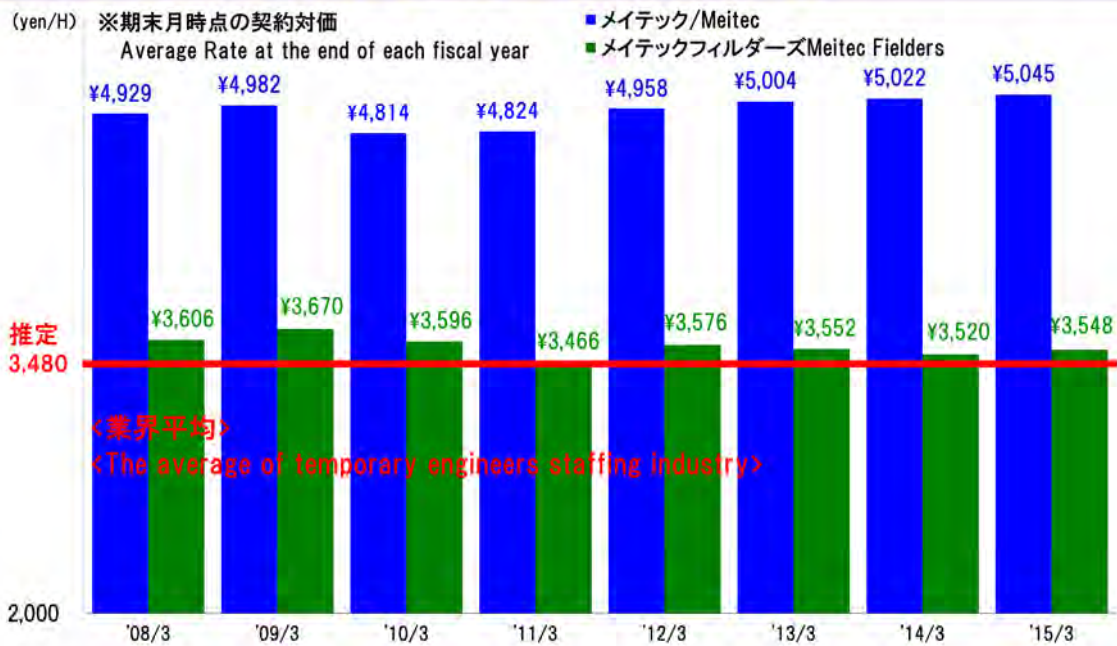


- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数」×「稼働率」の「お客さま先で業務に従事する稼働人員数」は引き続き、順調に伸びています。



## 対価・単価(・レート)=[市場価値]

- ✓ エンジニア一人ひとりがアウトプットの価値を高め、お客さまに価値を理解して頂く  
→ 市場価値に基づく「適正対価の獲得」を継続して努めていきます



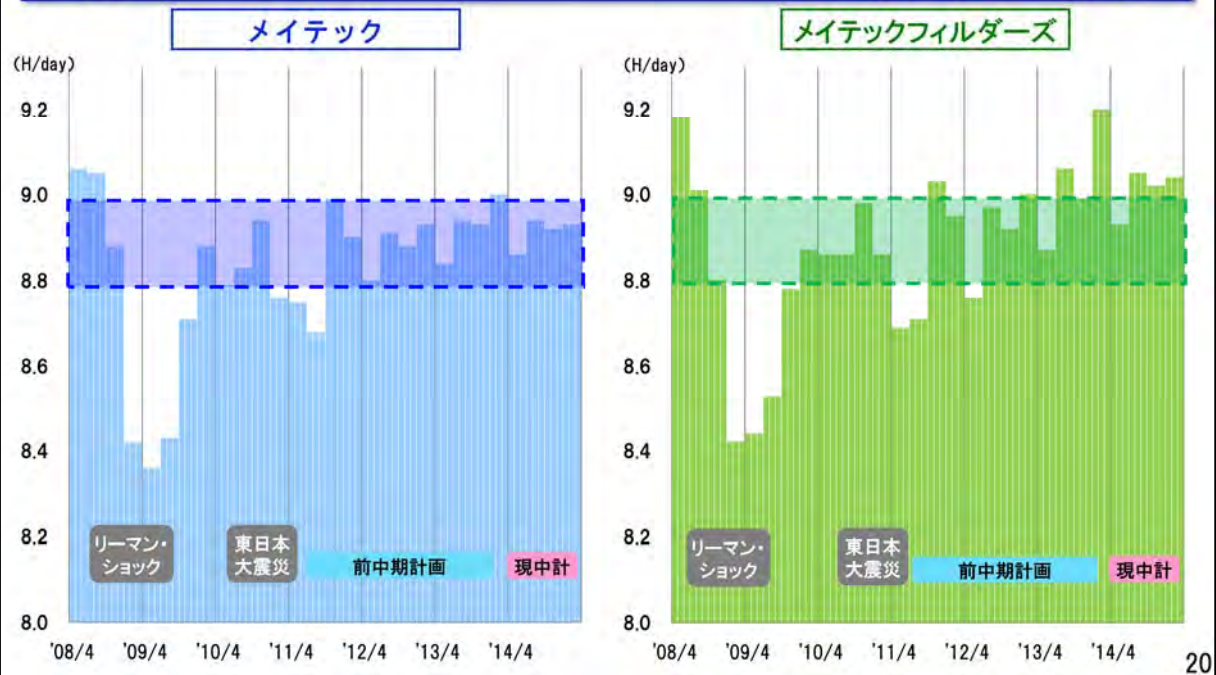
19

- 対価・単価の推移です。
- エンジニア派遣業界のリーディングカンパニーと自負するメイテックの対価は、5,000円レベルを維持しています。
- また、メイテックフィルダーズの対価も、業界平均よりやや高めめの3,500円レベルを維持しています。
- 今後も、エンジニア一人ひとりの市場価値をお客さまに訴求し、確実に対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」に努めていきます。
- また、MT、MF共に、2014年度の新卒が入社しても平均対価5000円、3500円以上を維持できている背景には、既存社員が適正対価を確実に獲得できた結果、といえます。



## 稼働時間

✓ お客様のコスト抑制動向に変化は無く、メイテックの稼働時間は8.8~9.0H/dayで安定的に推移  
※当社でコントロール不可



- 稼働時間の推移です。
- 稼働時間の0.1時間は、売上高の約1%に該当しますので、業績影響の大きい指標の一つですが、稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能です。
- メイテックの稼働時間は1日あたり8.8~9.0時間で安定的に推移し、今後もこうした動向が続くと想定しています。

## お客様の売上高TOP10

✓ メイテック単体のお客様の売上高TOP10は以下の通りです

注: 具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

2010年3月期 (2009年度)			2014年3月期 (2013年度)			2015年3月期 (2014年度)		
1	パナソニック 様		1	三菱重工業 様		1	三菱重工業 様	
2	三菱重工業 様		2	デンソー 様		2	キヤノン 様	
3	キヤノン 様		3	キヤノン 様		3	デンソー 様	
4	ソニー 様		4	ニコン 様		4	パナソニック 様	
5	トヨタ自動車 様		5	パナソニック 様		5	トヨタ自動車 様	
6	デンソー 様		6	トヨタ自動車 様		6	ニコン 様	
7	ニコン 様		7	川崎重工業 様		7	川崎重工業 様	
8	川崎重工業 様		8	ソニー 様		8	オムロン 様	
9	セイコーエプソン 様		9	オムロン 様		9	ソニー 様	
10	オムロン 様		10	東芝 様		10	東芝 様	
トップ10社合計	14,826	35.9%	トップ10社合計	16,342	27.8%	トップ10社合計	17,170	26.5%
トップ20社合計	19,281	46.7%	トップ20社合計	22,708	38.6%	トップ20社合計	23,690	36.6%
その他	22,039	53.3%	その他	36,168	61.4%	その他	40,984	63.4%
合計	41,319	100.0%	合計	58,876	100.0%	合計	64,675	100.0%

21

- メイテックのお客様の売上TOP10です。
- 順位に変動はありますが、TOP10圏内に入るお客様に大きな変化は見られません。
- なお、TOP10の占有率は減少傾向にありますが、特定業種に偏らずに、幅広くサービスを展開してきた結果であり、メイテックグループの強みの一つです。

## 業種別の売上

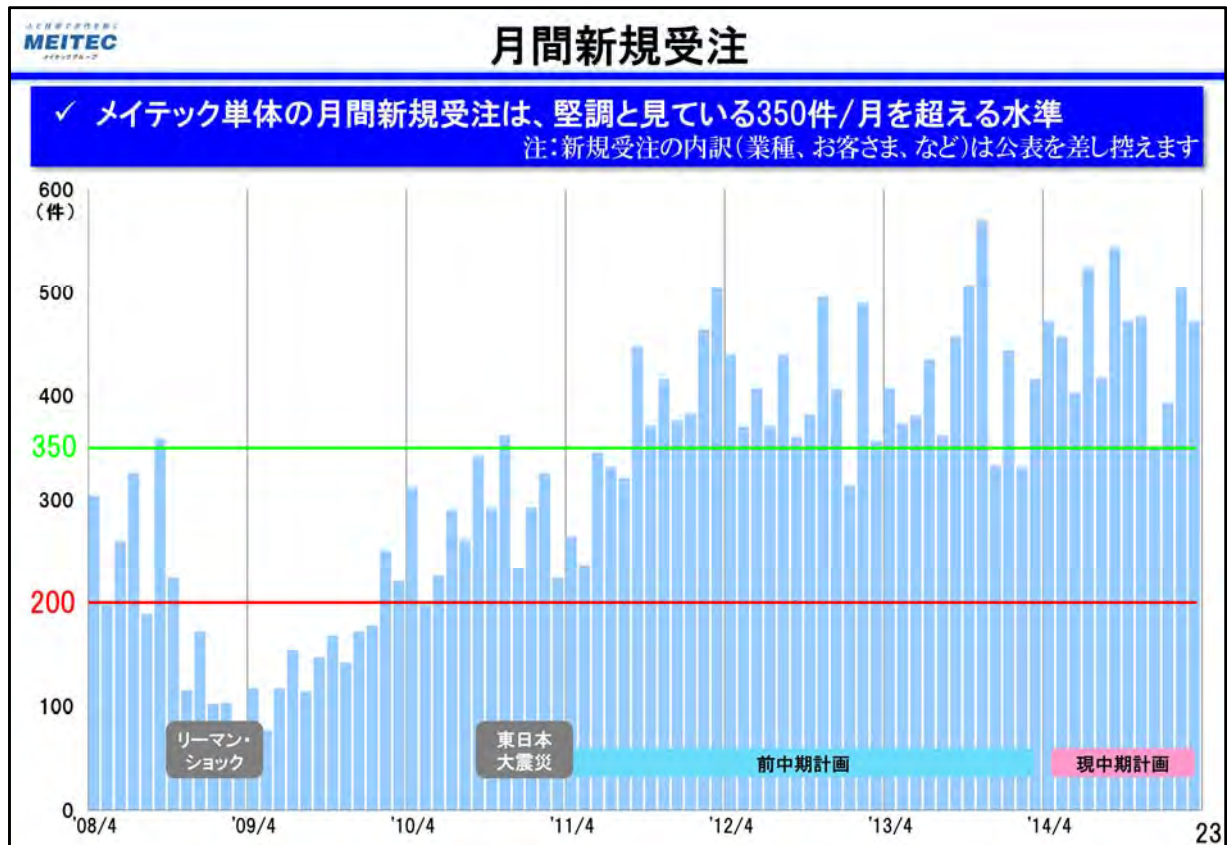
✓ メイテック単体の業種別の売上高は以下の通りです。

注：計数は「ご参考資料」に掲載。お客さま別内訳や見通しは公表を差し控えます。



22

- 業種別の売上高推移です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」の伸びが顕著です。
- 広い分野の製造業のお客さまと取引して頂いているからこそ、特定の業界や分野が厳しい状況でも、他の業界や分野で対応でき、業種が偏らない事は、メイテックの強みの一つです。

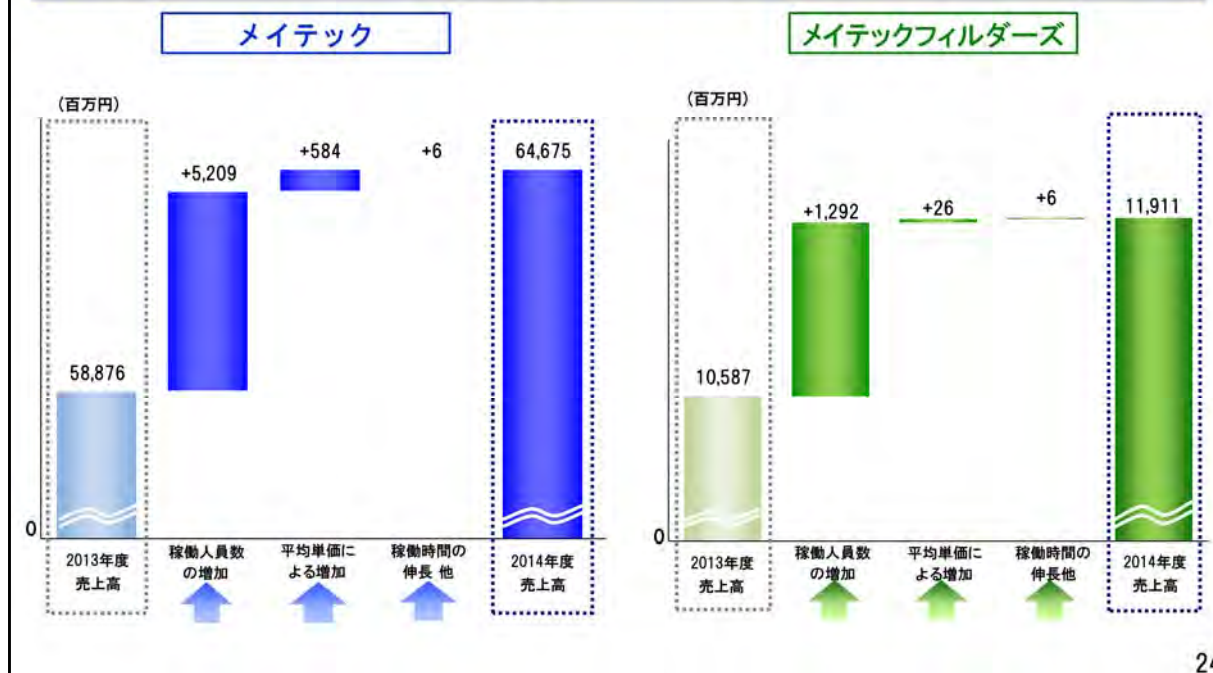


- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調、200件を下回る水準は危険な状態、と判断してきましたが、足元は堅調に推移していると認識しています。



## 売上高前年同期比較

✓ メイテック・メイテックフィルダーズともに、増収の主要因は「稼働人員数の増加」



- エンジニア派遣事業の単体売上高の増減内訳です。
- メイテック、メイテックフィルダーズともに、増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」であり、その影響額は記載の通りです。

## 特別損失の計上

- ✓ 2014年10月、維持費用の負担軽減及び将来の費用増加リスク削減を狙い、大型研修施設等の利用停止を決定し、第2四半期に減損損失を計上  
→ 期末に再度精査し、損失見積もり額を若干修正

減損損失(特別損失)	△3,615 百万円
うち 大型研修施設関連	△3,546 百万円
税金費用(税効果)	+1,051 百万円
当期純利益の影響	△2,564 百万円

- 中期計画の販管費見込みとの比較で、最大:約2億円/年の負担軽減見込み
- 老朽化による突発的・大規模修繕等の費用増加リスクも削減
- コスト削減効果を速やかに享受する為、売却する方針

(百万円)	減損損失
大型研修施設関連	△3,546
① 神戸テクノセンター	△1,906
② 厚木テクノセンター社員寮	△799
③ 日進テクノセンター	△589
④ 名古屋テクノセンターほかのうち、名古屋EOC・メカトロC	△252

2015年度上期中に一部物件の売却が確定的(業績予想に反映)

25

- 特別損失の説明です。
- 36億15百万円の特別損失の大半は、昨年10月、将来の費用増加リスクの削減を図る為に、大型研修施設などの利用停止を決定した減損損失の影響です。
- 第2四半期決算説明会で説明した通り、コスト削減効果を速やかに享受する為、更地化した上で売却する方針、としましたが、一部物件が、本年上半期中に売却できる事が確定的となりました。
- この損益影響は、のちほど説明します。

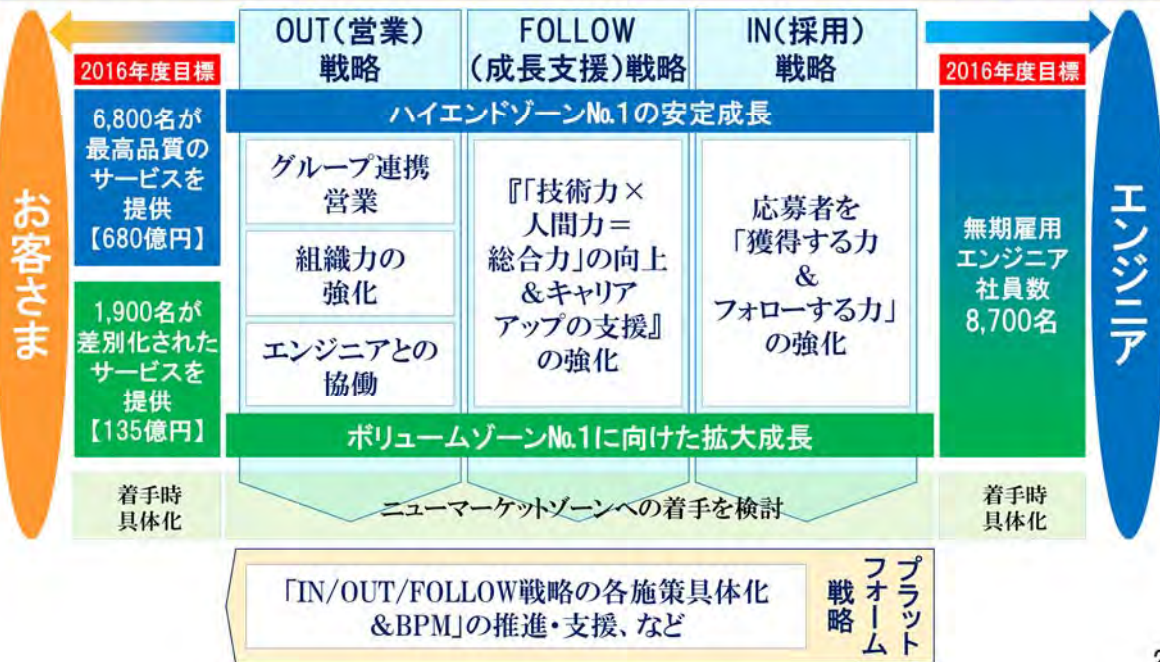


## 2. 中期経営計画の進捗状況

人と技術で次代を拓く  
**MEITEC**  
メイテックグループ

- 次に、中期経営計画の1年目の進捗状況を説明します。

✓ エンジニア派遣事業で、強みの『最大・最高の「機会と場」』をより一層拡大へ  
→4つの戦略(IN・OUT・FOLLOW・プラットフォーム)が一体となって、2つのサービス提供先への価値を向上



- 中期計画のスタート時点におけるエンジニア派遣事業の戦略・施策を再度掲載したものです。



		1期目の進捗
IN(採用) 戦略	応募者を 「獲得する力&フォローする力」 の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学校との関係性強化</li> <li>✓ 応募者との接点強化</li> </ul>
OUT(営業) 戦略	グループ連携営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ グループ一体で顧客ニーズに応える 連携営業を推進</li> </ul>
	組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 蓄積した顧客情報を最大活用する 仕組みを構築</li> </ul>
	エンジニアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 成功事例を共有し、 営業とエンジニアとの協働を促進</li> </ul>
FOLLOW (成長支援) 戦略	『「技術力×人間力=総合力」の向上 &キャリアアップの支援』 の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 既存エンジニアのキャリアアップ支援強化と 新規入社者の早期戦力化を目的に、 サービス対象者別の組織に分割</li> </ul>

- エンジニア派遣事業は、  
IN:採用、OUT:営業、FOLLOW:成長支援の  
3つのシステムが有機的に結びつく事が重要です。
- その順序に沿って、進捗状況を記載しました。

✓エンジニア紹介事業で、強みの「エンジニア専門転職支援 総合満足度No1」を磨き一層拡大へ  
✓今回の中期計画では、エンジニア紹介事業の中でグローバル展開を検討

エンジニア専門転職支援  
総合満足度5年連続No1

モノづくり系エンジニア  
の転職に専門特化

業界最大級の求人数  
(常時7,000件以上)

技術に精通した専門の  
コンサルタントが支援

※2015年4月1日現在  
(本戦略および目標は変更なし)



※上記「2016年度目標」には、メイテックキャストにおける紹介業務の目標値を含む

- 中期計画のスタート時点におけるエンジニア紹介事業の戦略・施策を再度掲載したものです。
- エンジニア専門転職支援総合満足度5年連続NO1であるメイテックネクストを拡大して、日本と中国、連携して取り組んでいます。

		1期目の進捗
お客さま 向けの戦略	エンジニア紹介の強化 (求人数拡大&求職者拡大)	✓ グループ会社の中で、 顧客とエンジニアを相互紹介し、 紹介決定数が伸長
エンジニア 向けの戦略		
お客さま 向けの戦略	グローバルな選択肢の拡大 (人材紹介&働き方の提案)	✓ 明達科上海とメイテックネクストの間で 顧客とエンジニアを相互に紹介し、 上海で紹介実績
エンジニア 向けの戦略		
お客さま 向けの戦略	高年齢エンジニアの選択肢の拡大 (人材紹介&働き方の提案)	✓ 専属アドバイザーを配して 顧客ニーズを開拓し、 求人数が大幅に増加
エンジニア 向けの戦略		

- 紹介事業の損益実績は、前期比  
32.4%の増収、111.1%の増益、と説明しましたが、  
この紹介事業はメイテックネクストが  
メインで担っています
- 同時に中国とも連携しながら、グループ会社間の営  
業連携も進み、確実に紹介決定数が伸びてきました。
- 引き続き、一層の拡大を目指します。

### 3. 2016年3月期 業績予想



- 次に、2016年3月期の業績予想を説明します。



## 2016年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 年間の予想値 → 売上高は前期比+4.7%の860億円(過去最高)、営業利益は同比+2.7%の98億円、経常利益は同比+1.6%の98億円
- ✓ 上半期中に約10億円の不動産売却益を見込み、当期純利益は前期比+91.3%の約70億円(過去最高)を予想

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期 3Q+4Q
売上高	86,000	+3,863	+4.7%	41,800	+2,499	+6.4%	44,200
売上原価	63,400	+2,918	+4.8%	31,100	+1,733	+5.9%	32,300
販売管理費	12,800	+685	+5.7%	6,400	+458	+7.7%	6,400
営業利益	9,800	+259	+2.7%	4,300	+307	+7.7%	5,500
営業利益率	11.4%	▲0.2%		10.3%	+0.1%		12.4%
経常利益	9,800	+156	+1.6%	4,300	+287	+7.2%	5,500
親会社株主に帰属する当期純利益	7,000	+3,340	+91.3%	3,300	+3,105	+1600.0%	3,700
1株当たり当期純利益(EPS)	231.14	+111.02		108.96	+102.61		

32

- 2016年3月期の年間の連結業績予想は、売上高は前期比4.7%増収、過去最高の860億円、営業利益は2.7%増益の98億円、としました。
- 当期純利益は、上半期中の所有物件売却に伴う約10億円の特別利益を見込んで、前期比、約33億円、91.3%増益、過去最高の70億円としました。

## 2016年3月期業績予想 メイテック

✓ 年間の予想値 → 売上高は前期比+4.8%の678億円(過去最高)、営業利益は同比+3.5%の82億円、経常利益は同比+3.1%の87億円、当期純利益は同比+94.6%の65億円

メイテック (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	67,800	+3,124	+4.8%	33,000	+2,317	+7.6%	34,800
売上原価	50,300	+2,442	+5.1%	24,800	+1,708	+7.4%	25,500
原価率	74.2%	+0.2%		75.2%	▲0.1%		73.3%
販売管理費	9,300	+408	+4.6%	4,600	+274	+6.4%	4,700
営業利益	8,200	+274	+3.5%	3,600	+334	+10.2%	4,600
営業利益率	12.1%	▲0.2%		10.9%	+0.3%		13.2%
経常利益	8,700	+261	+3.1%	4,100	+402	+10.9%	4,600
当期純利益	6,500	+3,159	+94.6%	3,400	+3,227	+1870.5%	3,100
稼働率(全体)	96.2%	+0.1%		95.2%	+1.3%		97.1%
稼働時間<h/day>	8.92	▲0.01		8.90	—		8.93
採用数<名>	489	▲70					
新卒採用数	299	▲79					
中途採用数	190	+9					
退職率	5.0%	+1.5%					
				2016年4月入社の 新卒採用目標数	310	15年4月 実績比	+11

33

- メイテック単体の業績予想は、  
下段に記載した主要指標を前提に、  
売上高は前期比4.8%増収、過去最高の678億円、  
営業利益は3.5%増益の82億円、  
当期純利益は94.6%増益の65億円  
としました。
- なお、先ほどご説明した通り、上半期中の不動産売却益として特別利益を見込んでいます。

## 2016年3月期業績予想 メイテックフィルダーズ

✓ 年間の予想値 → 売上高は前期比+7.5%の128億円(過去最高)、営業利益は同比+2.4%の11億円、当期純利益は同比+7.9%の7億円

メイテックフィルダーズ (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期 3Q+4Q
売上高	12,800	+888	+7.5%	6,200	+446	+7.8%	6,600
売上原価	9,900	+745	+8.1%	4,800	+346	+7.8%	5,100
原価率	77.3%	+0.5%		77.4%	+0.0%		77.3%
販売管理費	1,800	+117	+7.0%	900	+86	+10.6%	900
営業利益	1,100	+26	+2.4%	500	+13	+2.8%	600
営業利益率	8.6%	▲0.4%		8.1%	▲0.4%		9.1%
経常利益	1,100	+25	+2.4%	500	+13	+2.7%	600
当期純利益	700	+51	+7.9%	300	+2	+0.8%	400
稼働率(全体)	94.9%	▲1.1%		92.6%	▲0.8%		97.1%
稼働時間(h/day)	9.04	+0.00		8.99	+0.00		9.09
採用数(名)	280	▲2					
新卒採用数	175	+2					
中途採用数	105	▲4					
退職率	8.5%	+0.0%					
				2016年4月入社の 新卒採用目標数	15年4月 実績比		
				190	+15		

34

- メイテックフィルダーズの業績予想も、下段に記載した主要指標を前提に、売上高は前期比7.5%増収で過去最高の128億円、営業利益は2.4%増益の11億円、当期純利益は7.9%増益の7億円としました。

## 業績予想・中期計画の進捗

2014年度  
(1年目実績)



2015年度  
(2年目予想)



2016年度  
(3年目目標)

人と技術で次代を拓く  
**MEITEC**  
メイテックグループ

- 3年間の中期計画に関して、  
1年目の実績、  
2年目の業績予想、  
3年目の目標の水準感  
について説明します。



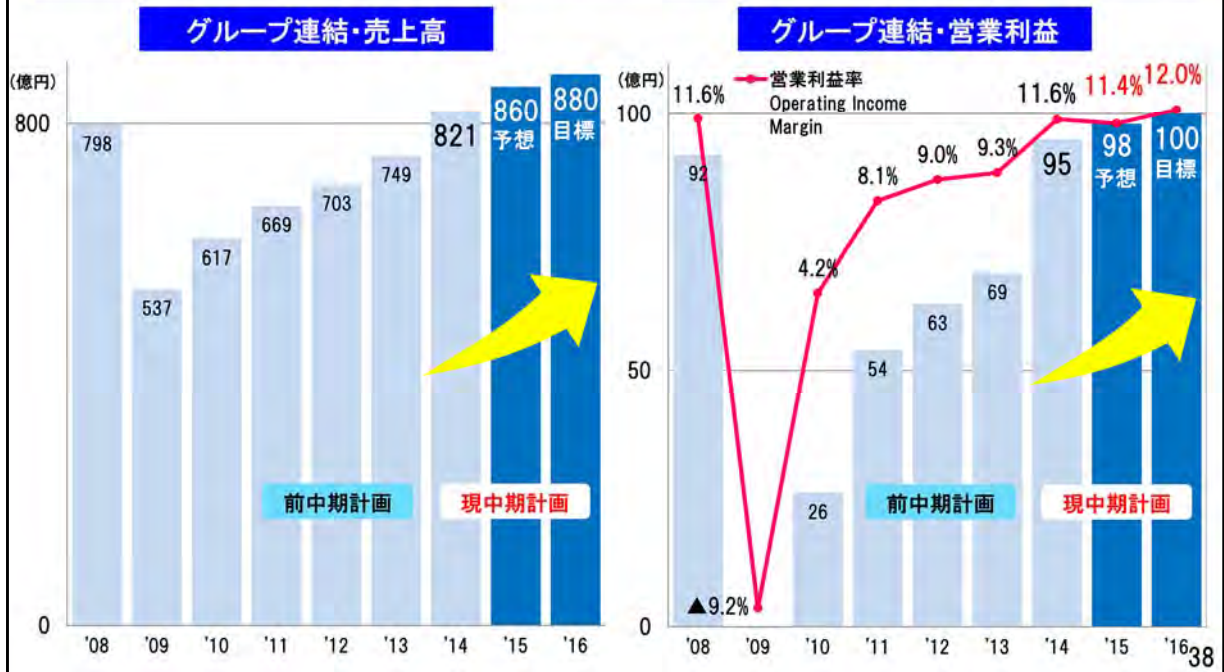
- ✓2014年度は基本戦略に基づき、基盤体制を構築、計画通りに進捗
- ✓2015年度は更なる成長に向けて各戦略への取り組みを強化し、目標達成を目指す

グループ連結	2014年度実績	2015年度予想	2016年度目標
売上高	(期初790) 821億円	860億円	880億円
営業利益	(77) 95億円	98億円	100億円
営業利益率	(9.7%) 11.6%	11.4%	12%以上
当期純利益	(49) 36億円	70億円	60億円
ROE	9.9%	19%	15%以上
<b>メイテック</b>			
売上高	(期初615) 646億円	678億円	680億円
営業利益	(63) 79億円	82億円	85億円
営業利益率	(10.2%) 12.3%	12.1%	13%以上
<b>メイテックフィルダーズ</b>			
売上高	(期初114) 119億円	128億円	135億円
営業利益	(9) 10億円	11億円	13億円
営業利益率	(7.9%) 9.0%	8.6%	9.5%程度

37

- 中期計画の最終年度、3年目の収益目標は変更しません。
- グループ連結で過去最高水準の売上高880億円、営業利益100億円、営業利益率12%以上、ROE15%以上を目指します。
- なお、2年目、2015年度の当期純利益とROEの業績予想は最終年度目標を上回る見込みですが、先ほど説明したように、約10億円の不動産売却益という特殊要因が背景です。
- 確実に当期純利益、ROEが3か年の最終年度に目標達成できるように目指していきます。

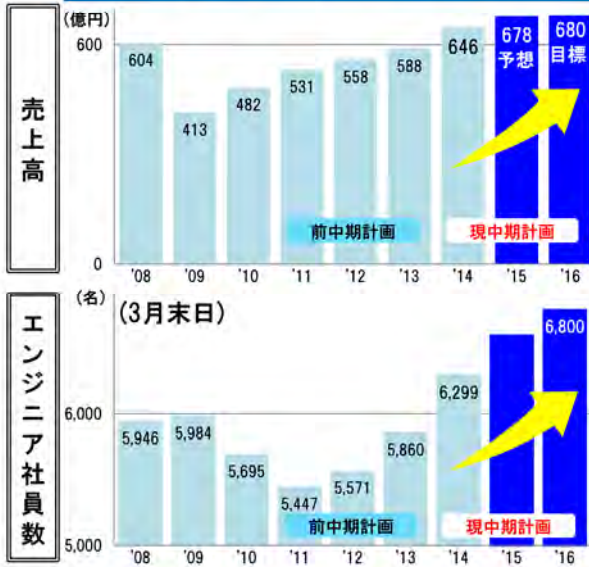
✓ 計画3年目に、売上高は過去最高の880億円、営業利益は100億円の大台を目指す



- 売上高、営業利益、営業利益率の水準は、グラフで示した通りです。
- 目標値は3年目に必ず達成したい、と考えています。

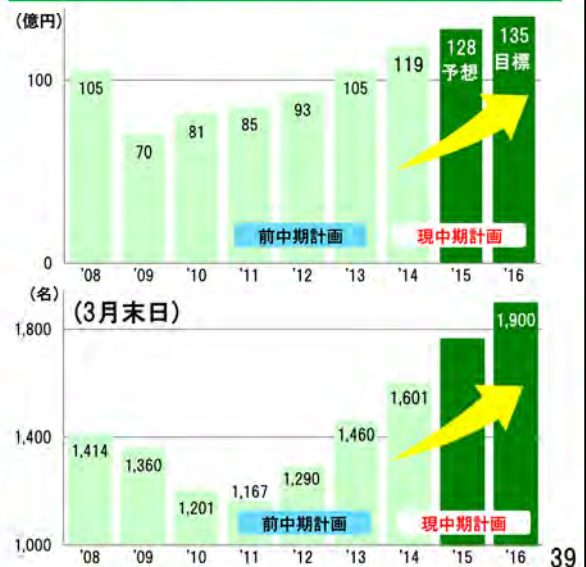
ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

3年で15% (年率5%)成長



ボリュームゾーンNo.1に向けた  
拡大成長

3年で29% (年率9%)成長

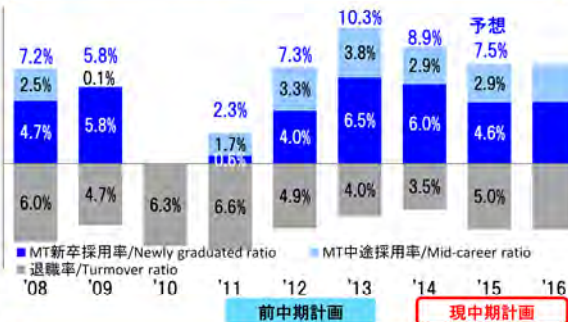


- 下段の通り、最終年度の期末エンジニア社員数は、ハイエンドゾーンのメイテックでは6,800名、ボリュームゾーンのメイテックフィルダーズでは1,900名が目標です。
- 1年目は順調に推移しましたが、最終目標の達成に関してはリスクを認識しています。



ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

採用数は約630名/年を継続



対価は現状維持の約5,000円/h

稼働時間は足元と同水準

ボリュームゾーンNo.1に向けた  
拡大成長

採用数は約300名/年を継続



対価は現状維持の約3,500円/h

稼働時間は足元と同水準

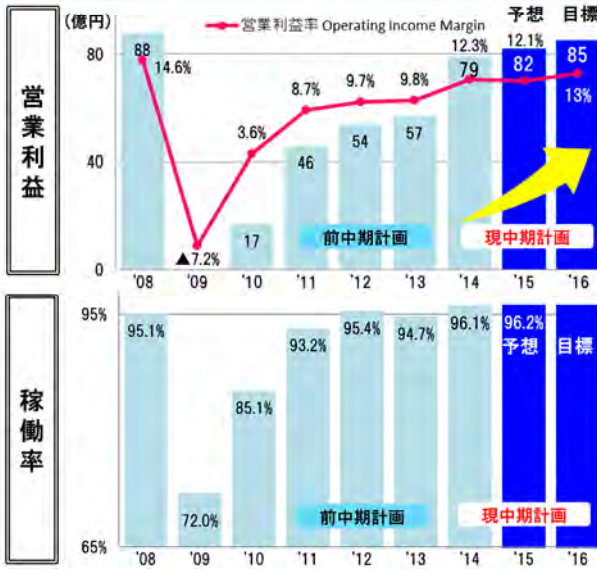
40

- エンジニア社員数の目標達成に関するリスクは、やはり採用です。
- 1年目の2014年度は、採用目標数の引き下げを余儀なくされ、来年4月入社の新卒採用数も引き下げた後の水準に止まっています。
- 結果、2年目の2015年度の採用率は、中期計画策定時より弱い水準を予想しています。
- この弱い水準は、後年度のエンジニア社員数の増加目標にマイナスの圧力として働く為、リスクと認識しています。
- 採用に関しては、のちほど説明します。
- 一方、メイテックの退職率は計画時点よりもかなり低い水準となり、エンジニア社員数の増加目標に寄与しました。
- 引き続き、メイテック・メイテックフィルダーズのエンジニアとして業務を続ける事、キャリアアップが実現できる事など、エンジニア個人個人の満足度を高める事で、退職率の低下に努めたい、と考えています。



ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

稼働率は約95%を維持



ボリュームゾーンNo.1に向けた  
拡大成長

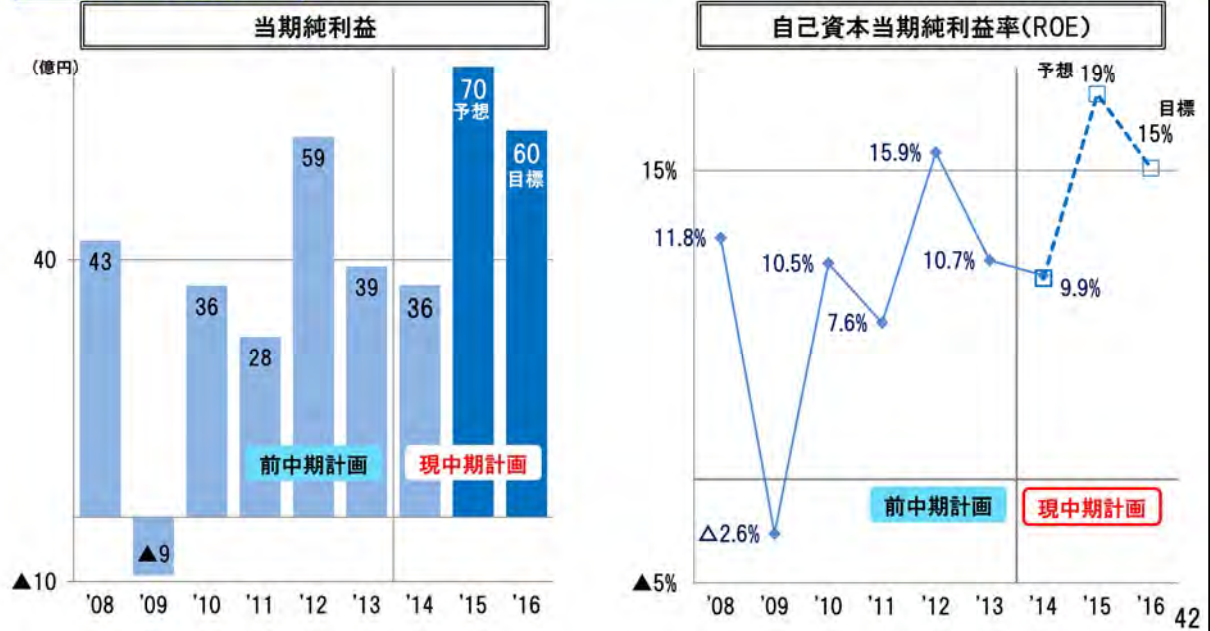
積極増員のため、  
稼働率は95%を若干割り込む水準



- 営業利益の水準はグラフで示した通りです。
- コアの収益力である営業利益率の目標は、最終年度の3年目で必ず達成したい、と考えています。
- なお、下段に示した稼働率の2年目の業績予想は計画時点よりも高い水準を予想しています。

✓ 計画3年目に、連結の当期純利益は60億円を、連結ROEは15%以上を目指す

グループ連結



- 先ほど説明した通り、2年目の当期純利益とROEの予想は、最終年度目標を上回る見込みですが、これは不動産売却益という特殊要因が背景です。
- 確実に3年目の目標達成できる状態、次の3年目に繋いでいける状態にしていきたいと思えます。

## 2016年3月期の採用目標

### 中途採用(2016年3月期)

- メーカーへの転職希望者の決定数が増加しており、市場意欲は高水準で全く衰えは見られない  
→ リーマンショック前の求人環境を超える
- ✓ 引き続き、採用基準を保持した上で、機械系・電気電子系を中心に、効率的な採用活動へ改善中  
→ 紹介会社との連携強化  
→ 成長意欲を重視し、対象範囲拡大も検討

### 新卒採用(2016年4月入社)

- 求人企業数、採用計画数は昨年比2桁の伸び(2年連続)と厳しい競争環境
- 就活スケジュール変更に伴う不安感が多い
- ✓ 生涯プロエンジニアに至る具体的なキャリアパスを理解してもらうことに注力
- ✓ 成長意欲を重視し、対象範囲拡大も検討  
→ 更なる採用数の上積み注力
- ※設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わる人材派遣中心のため、採用基準は下げられない

(名)	2016年3月期					2017年3月期	
	15年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		16年4月入社 新卒採用数 (目標)	前期比
		〈目標〉	前期比	〈目標〉	前期比		
メイテック	299	190	+9	489	▲70	310	+11
メイテック フィルダーズ	175	105	▲4	280	▲2	190	+15
合計	474	295	+5	769	▲72	500	+26

43

- 2016年3月期の採用環境ですが、新卒・中途ともに市場の採用意欲に衰えは見られません。
- 特に新卒採用は、各社の採用計画数が「2年連続で2桁の伸び」、メディアによっては「2年で2倍を上回る」とも言われており、さらに厳しい競争環境にあると予想しています。
- 中期計画では、メイテック・メイテックフィルダーズの新卒採用数は575名を計画しましたが、来年4月入社 of 目標数は500名と低い水準を強いられています。
- しかし、この500名という新卒採用計画数は、新聞記事によれば、日本企業全体で57番目、理工系では5番目の規模であり、かなり大きな水準に違いはありません。
- なお、こうした厳しい環境ですが、設計・開発部門で最先端技術や最新製品開発に携わる人材派遣中心である為、採用基準を下げる事はできません。
- 大手製造業のお客さまを訪問した際に、メイテックのエンジニアの「技術力×人間力＝総合力」の品質は絶対に維持して欲しい、と強く要請される場面が多いです。
- 強みを維持し、持続的に成長できる状態を作るためにも、品質を担保し、確実に自前で成長できる採用に取り組んでまいります。



## 利益分配に関する基本方針

- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益分配に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂  
利益配分方針

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の  
取得・  
保有・消却

自己株式の取得

月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資

継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

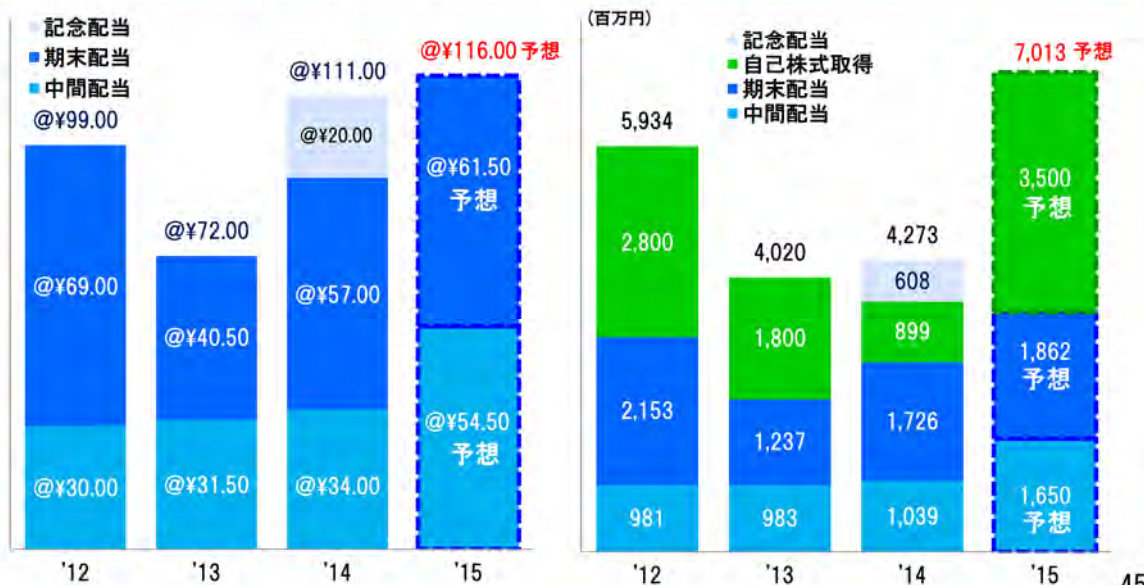
44

- 最後は、利益配分の説明ですが、「利益配分の基本方針」は変更せず、維持します。



## 利益配分の実績と予想～1/2

- ✓ 2014年度の期末配当は57円に記念配当10円を含んだ67円、中間配当44円と合わせた年間配当金は111円
- ✓ 2015年度は方針に則した「普通配当(@116円、約35億円)と自己株式取得(35億円)」  
総還元性向100%=(普通配当35億円+自己株式取得額35億円)÷当期純利益予想70億円



45

- 前期の期末配当は、通常配当57円に設立40周年の記念配当10円を加えた67円とし、44円の間配当とあわせた年間配当金は111円となります。
- 2015年度の利益配分は、基本方針に則して「普通配当と自己株式取得」とし、「総還元性向100%」を適用する予想とします。
- 具体的には、当期純利益の予想70億円に対して、配当5割、自己株式取得5割、の配分とし、年間配当金予想は1株当たり116円で配当総額は約35億円、自己株式取得額は35億円を予想値としました。

## 利益配分の実績と予想～2/2

- ✓ 2015年度予想の比較は、2014年度の通常部分が適正
- ✓ 年間配当金予想は、前期比+@25円の@116円(過去最高)

(百万円、@円)	2014年度 実績			2015年度 予想		
	A=B+C	B 通常部分	C 40周年記念	D	前年度比 D-B:通常	
連結当期純利益	3,659	3,659		7,000	+3,340	
1株当たり	@120.12	@120.12		@231.14	+@111.02	
総利益配分額	4,273	3,664	608	7,013	+3,348	
年間配当	配当総額	3,373	2,765	608	3,513	+747
	1株当たり	@111.00	@91.00	@20.00	@116.00	+@25.00
第2四半期末	配当総額	1,344	1,038	305	1,650	+611
	1株当たり	@44.00	@34.00	@10.00	@54.50	+@20.50
期末	配当総額	2,029	1,726	302	1,862	+136
	1株当たり	@67.00	@57.00	@10.00	@61.50	+@4.50
自己株式取得	取得金額	899	899	対象外	3,500	+2,600
	(取得株数)		268,700株		未定	
総還元性向	116.8%	100.1%		100.2%		

自己株除く      92.4%      75.8%      50.2%      ▲25.6% 46

- この利益配分予想は、前年の記念配当を除く通常部分と比較するのが適正です。
- 通常部分の実績との対比で、1株当たりは+25円、配当総額では+約7.5億円の増配予想、自己株式取得は+26億円の増額予想となります。
- 引き続き、中期経営計画を着実に押し進め、事業システムの質と量を磨き、進化させ、これからも持続的に成長できる企業グループに向けて取り組んでいきたいと考えています。
- 引き続き、ご支援、ご理解の程、賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
- ご清聴、ありがとうございました。

---

## 4. ご参考資料

---



余白



## 1. 正社員エンジニアの派遣業界最大手

〈業界最大の取引 & 業界最高の品質、先駆者〉

## 2. 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」

〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

## 3. お客様は、約1,000社の日本の大手製造業

〈創業以来、40年間で、延べ4,000社超〉

## エンジニア社員同士のつながり





# 2015年3月期業績

- ✓ 子会社別の前年実績
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストの売上高営業利益率は30%超

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダース	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	64,675	11,911	2,524	53	1,131	117	102	1,658
前期比 増減額	+5,799	+1,323	+81	+38	+258	+58	+18	+94
前期比 増減率	+9.8%	+12.5%	+3.3%	+266.2%	+29.7%	+100.5%	+21.6%	+6.1%
営業利益	7,925	1,073	97	△28	385	25	△54	11
前期比 増減額	+2,173	+217	▲2	+5	+90	+36	+33	+33
前期比 増減率	+37.8%	+25.4%	▲2.5%	—	+30.5%	—	—	—
経常利益	8,438	1,074	98	△27	385	28	△51	15
当期純利益	3,340	648	57	△27	243	24	△51	△22

※2014年10月1日付で株式会社メイテックCAEを吸収合併したため、メイテックに合算しています。

51

# 2016年3月期業績予想

- ✓ 子会社別の業績予想
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストは前期比+15%の増収を計画

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダース	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研
売上高	67,800	12,800	2,600	80	1,300	140	100	1,550
前期比 増減額	+3,124	+888	+75	+26	+168	+22	▲2	▲108
前期比 増減率	+4.8%	+7.5%	+3.0%	+49.5%	+14.9%	+19.5%	▲2.5%	▲6.5%
営業利益	8,200	1,100	80	△30	330	30	△10	30
前期比 増減額	+274	+26	▲17	▲1	▲55	+4	+44	+18
前期比 増減率	+3.5%	+2.4%	▲18.2%	—	▲14.4%	+18.6%	—	+152.9%
経常利益	8,700	1,100	80	△30	330	30	△15	30
当期純利益	6,500	700	50	△30	220	25	△15	30

※2014年10月1日付で株式会社メイテックCAEを吸収合併したため、メイテックに合算しています。

52

# 稼働率の推移(月次)

## 稼働率の算出方法

稼働率(全体)＝売上部門稼働工数÷(売上部門稼働工数+売上部門教訓工数+支援部門教訓工数)

稼働率(新卒・中途除く)＝売上部門稼働工数÷(売上部門稼働工数+売上部門教訓工数)

第42期(2015年3月期)		14年				14年				上期平均	14年			第3四半期平均	15年			下期平均	通期平均		
		4月	5月	6月	第1四半期平均	7月	8月	9月	第2四半期平均		10月	11月	12月		1月	2月	3月			第4四半期平均	
メイテック+MF+CAE	月末エンジニア社員数 ※1, ※3	7,961	7,946	7,939	-	7,920	7,907	7,909	-	-	7,891	7,894	7,898	-	7,899	7,894	7,900	-	-	-	
メイテック+MF	稼働率(全体)	89.1	90.5	93.7	91.2	95.2	96.9	97.5	96.5	93.8	97.7	98.3	98.6	98.1	98.2	98.7	98.6	98.5	98.3	96.1	
	稼働率(新入社員等※2除く)	96.1	96.3	97.0	96.5	97.2	98.0	98.2	97.8	97.2	98.1	98.6	98.9	98.5	98.7	99.1	99.1	99.0	99.0	98.7	98.0
	月末エンジニア社員数 ※1, ※3	7,868	7,849	7,843	-	7,826	7,813	7,815	-	-	7,891	7,894	7,898	-	7,899	7,894	7,900	-	-	-	-
メイテック	稼働率(全体)	89.9	90.8	93.6	91.5	95.1	96.7	97.4	96.4	93.9	97.6	98.2	98.6	98.1	98.2	98.7	98.6	98.5	98.3	96.1	
	稼働率(新入社員等※2除く)	95.8	96.0	96.7	96.2	96.9	97.8	98.1	97.6	96.9	98.0	98.5	98.8	98.4	98.6	99.0	99.0	98.9	98.9	97.8	
	月末エンジニア社員数 ※1, ※3	6,238	6,226	6,226	-	6,214	6,203	6,209	-	-	6,294	6,292	6,295	-	6,298	6,293	6,299	-	-	-	
	社内派遣従事者数(外数) ※1	60	58	58	-	64	63	59	-	-	54	52	48	-	46	48	47	-	-	-	
MF	稼働率(全体)	86.3	89.4	94.0	90.0	95.9	97.3	97.8	97.0	93.4	97.8	98.6	98.6	98.3	98.4	98.8	98.6	98.6	98.6	98.5	96.0
	稼働率(新入社員等※2除く)	97.5	97.7	98.4	97.9	98.2	98.8	98.8	98.6	98.3	98.4	99.2	99.2	98.9	99.2	99.5	99.3	99.4	99.1	98.7	
	月末エンジニア社員数 ※3	1,630	1,623	1,617	-	1,612	1,610	1,606	-	-	1,597	1,602	1,603	-	1,601	1,601	1,601	-	-	-	
CAE	月末エンジニア社員数 ※3	93	97	96	-	94	94	94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1:メイテックのエンジニア社員数は未稼働エンジニアへの社内研修講師等の社内派遣従事者数を間接人員として控除しています

※2:入社後未配属のエンジニアを控除しています

※3:2014年10月1日付にて、CAEのエンジニアをメイテックに統合しています

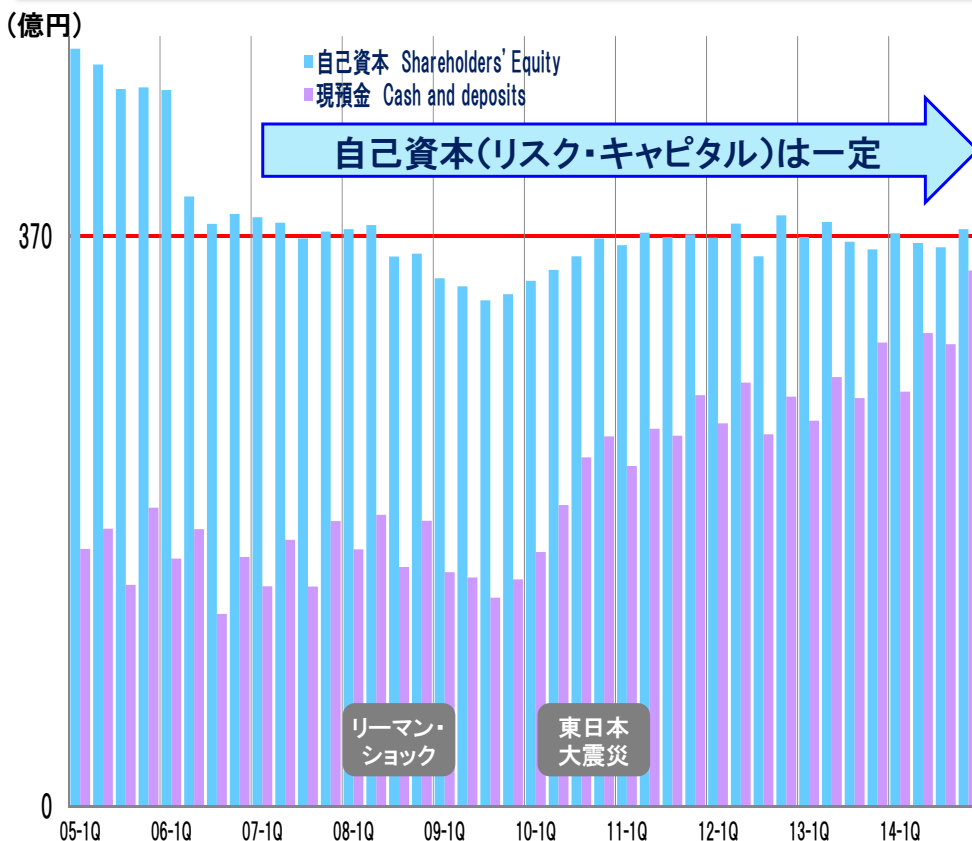
第41期(2014年3月期)		13年				13年				上期平均	13年			第3四半期平均	14年			下期平均	通期平均	
		4月	5月	6月	第1四半期平均	7月	8月	9月	第2四半期平均		10月	11月	12月		1月	2月	3月			第4四半期平均
メイテック+MF+CAE	月末エンジニア社員数 ※1	7,409	7,392	7,380	-	7,381	7,376	7,384	-	-	7,395	7,411	7,409	-	7,411	7,394	7,412	-	-	-
メイテック+MF	稼働率(全体)	88.4	90.0	92.8	90.4	93.9	95.3	96.0	95.0	92.7	95.8	96.5	97.4	96.5	96.8	97.3	97.5	97.2	96.9	94.8
	稼働率(新入社員等※2除く)	95.5	95.9	96.4	96.0	96.3	96.9	97.0	96.7	96.4	96.7	97.2	97.9	97.2	97.4	97.8	98.1	97.8	97.5	96.9
	月末エンジニア社員数 ※1	7,332	7,309	7,295	-	7,294	7,286	7,294	-	-	7,303	7,319	7,318	-	7,320	7,303	7,320	-	-	-
メイテック	稼働率(全体)	89.3	90.6	93.0	91.0	93.8	95.0	95.6	94.8	92.8	95.3	96.0	97.0	96.1	96.5	97.1	97.4	97.0	96.5	94.7
	稼働率(新入社員等※2除く)	95.4	95.8	96.1	95.8	95.9	96.5	96.6	96.3	96.1	96.1	96.7	97.5	96.7	97.0	97.4	97.8	97.4	97.1	96.6
	月末エンジニア社員数 ※1	5,883	5,865	5,858	-	5,849	5,846	5,851	-	-	5,858	5,869	5,871	-	5,872	5,855	5,860	-	-	-
	社内派遣従事者数(外数) ※1	60	60	59	-	63	61	61	-	-	57	58	58	-	58	59	59	-	-	-
MF	稼働率(全体)	84.6	87.2	91.9	87.9	94.4	96.4	97.5	96.0	91.9	97.9	98.4	98.9	98.4	98.0	98.3	98.1	98.2	98.3	95.2
	稼働率(新入社員等※2除く)	95.8	96.5	97.7	96.7	98.1	98.7	98.7	98.5	97.6	99.1	99.3	99.4	99.2	99.1	99.2	99.3	99.2	99.2	98.4
	月末エンジニア社員数	1,449	1,444	1,437	-	1,445	1,440	1,443	-	-	1,445	1,450	1,447	-	1,448	1,448	1,460	-	-	-
CAE	月末エンジニア社員数	77	83	85	-	87	90	90	-	-	92	92	91	-	91	91	92	-	-	-

※1:メイテックのエンジニア社員数は未稼働エンジニアへの社内研修講師等の社内派遣従事者数を間接人員として控除しています

※2:入社後未配属のエンジニアを控除しています

# 自己資本・現預金

- ✓ 既方針に則した利益配分を継続し、自己資本は約370億円を維持
- ✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠 → エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

# 業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	8,981	10,463	12,069	13,831	16,446	25.4%	+2,615	+18.9%
航空機・ロケット関連	3,563	4,006	4,402	4,825	5,265	8.1%	+440	+9.1%
産業用機器、機械器具および装置関連	6,933	8,073	8,205	8,477	9,631	14.9%	+1,153	+13.6%
精密機器関連	3,101	3,608	4,041	4,599	4,762	7.4%	+162	+3.5%
情報通信機器関連	5,021	5,241	5,114	5,248	5,204	8.0%	△ 44	△0.8%
電気・電子機器、電気機械器具設計	7,704	8,586	8,532	7,990	8,032	12.4%	+41	+0.5%
半導体・集積回路関連	4,270	3,197	3,424	3,622	4,104	6.3%	+482	+13.3%
半導体製造装置関連	1,310	1,807	1,844	1,837	1,792	2.8%	△ 45	△2.5%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	3,666	3,925	3,886	3,887	4,365	6.7%	+477	+12.3%
プラント関連	1,280	1,471	1,563	1,611	1,903	2.9%	+292	+18.1%
建築関連	284	273	325	371	368	0.6%	△ 3	△1.0%
その他	2,141	2,531	2,412	2,571	2,797	4.3%	+226	+8.8%
合計	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	100.0%	+5,798	+9.8%

55

# 業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

(百万円)

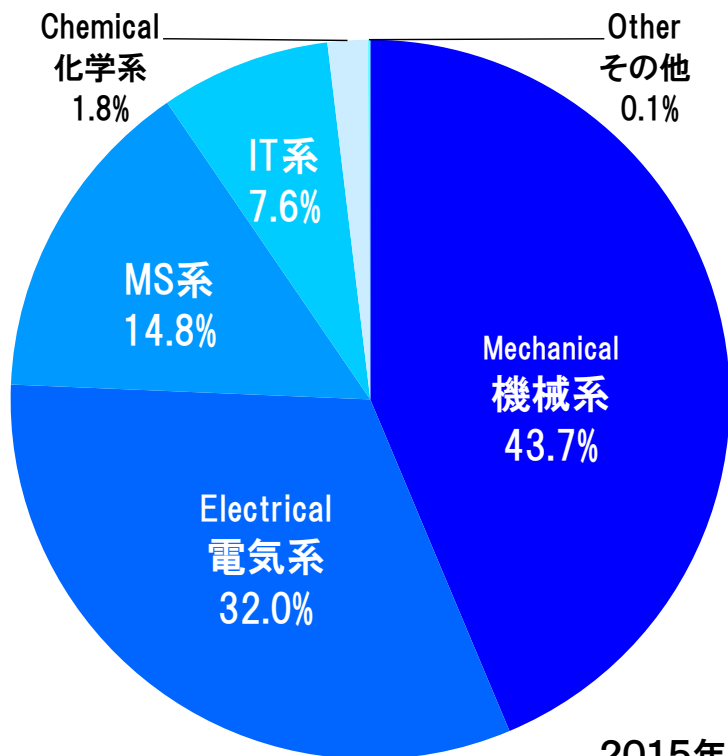
メイテックフィルダース	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	1,607	2,044	2,662	3,349	4,241	35.6%	+891	+26.6%
航空機・ロケット関連	67	109	152	200	207	1.7%	+7	+3.5%
産業用機器、機械器具および装置関連	1,132	1,144	1,254	1,509	1,770	14.9%	+260	+17.3%
精密機器関連	1,047	1,141	1,300	1,609	1,625	13.6%	+15	+1.0%
情報通信機器関連	351	324	326	378	397	3.3%	+19	+5.1%
電気・電子機器、電気機械器具設計	1,826	1,764	1,682	1,508	1,568	13.2%	+60	+4.0%
半導体・集積回路関連	989	647	532	437	457	3.8%	+19	+4.4%
半導体製造装置関連	494	536	414	455	403	3.4%	△ 52	△11.4%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	77	90	166	261	342	2.9%	+80	+30.9%
プラント関連	164	147	225	287	389	3.3%	+102	+35.5%
建築関連	44	18	97	98	26	0.2%	△ 71	△72.8%
その他	372	541	534	491	481	4.0%	△ 9	△2.0%
合計	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	100.0%	+1,323	+12.5%

56

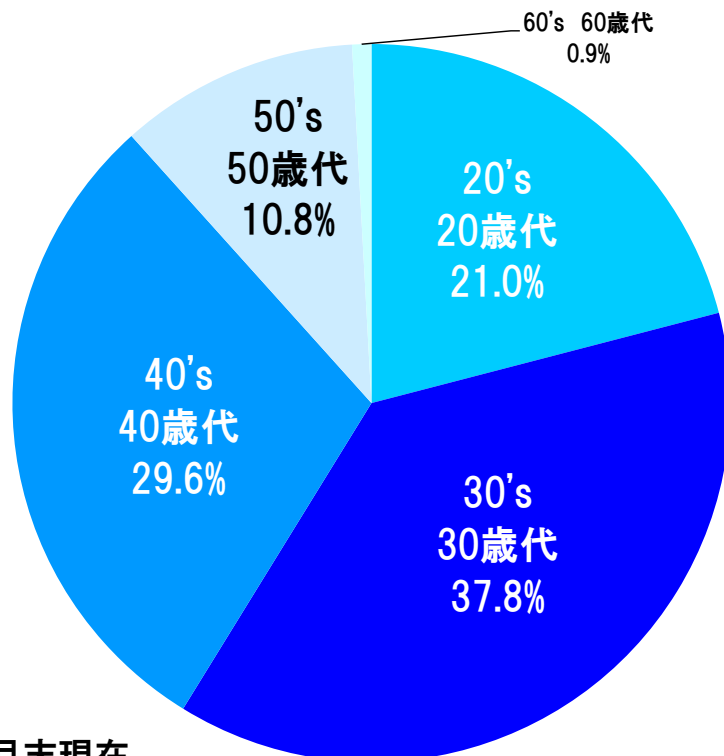
# メイテックエンジニアの構成

- ✓ メイテック・エンジニアの技術分野は、機械系、電気系エンジニアで約7割
- ✓ メイテック・エンジニアの年齢構成は、30代の占める割合が高い

技術分野/Technical field



年齢/According to age

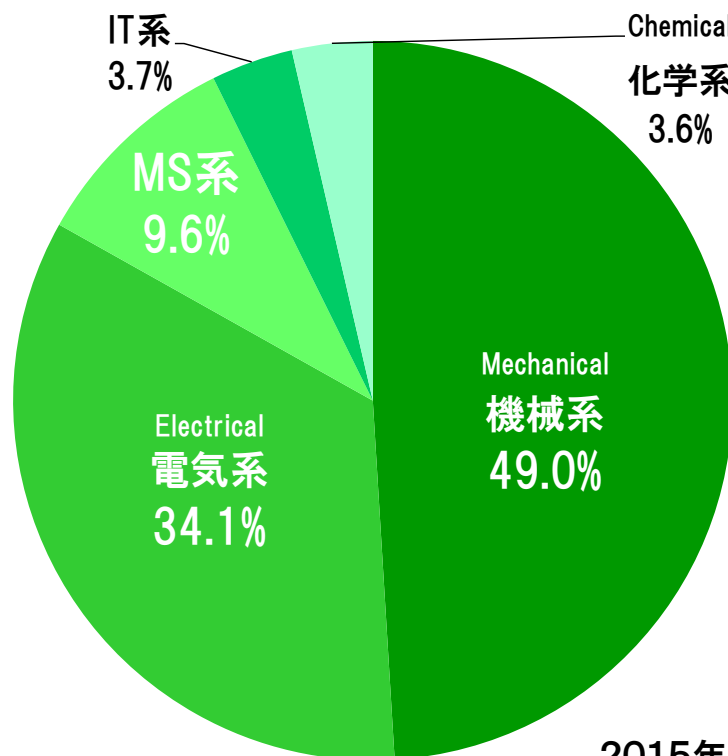


2015年3月末現在

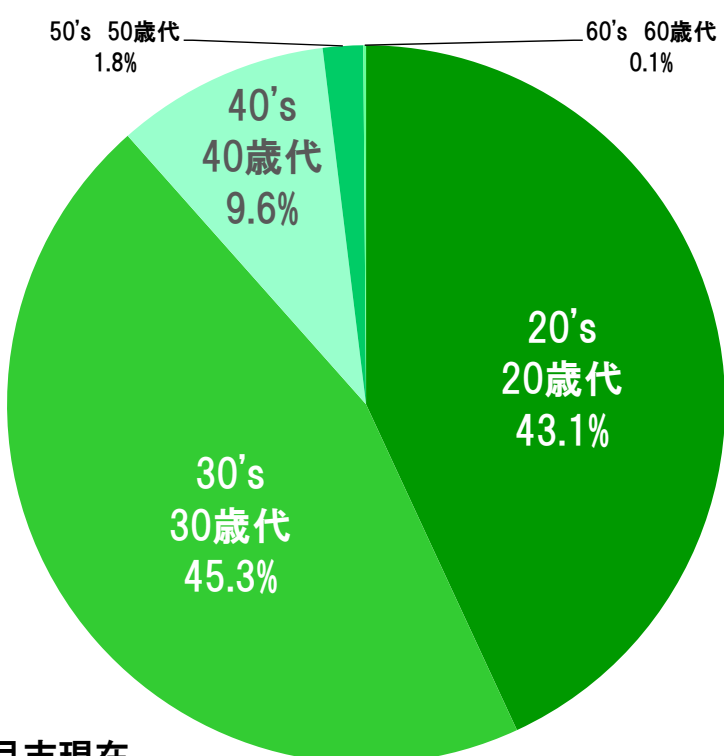
# メイテックフィルダースエンジニアの構成

- ✓ 技術分野は、機械系、電気系エンジニアで約8割
- ✓ 年齢構成は、20代、30代の占める割合が高い

技術分野/Technical field



年齢/According to age



2015年3月末現在



✓ 中期計画のスタートに先立ち、「グループの目指すべき姿」(ビジョン)を見直し  
→ 従前の4つ(社員・顧客・株主・社会)の価値から、下記の5つの価値へ修正

〔経営理念〕  
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕  
人と技術で次代を拓く

私たちメイテックグループは、  
全社員がつながりあい、  
エンジニア価値を起点として、  
5つの価値を  
持続的に向上させます

**顧客価値**  
すべてのお客さまから信頼される  
ベストパートナーを目指し、  
最適な「人と技術」のサービスを  
提供し続けます

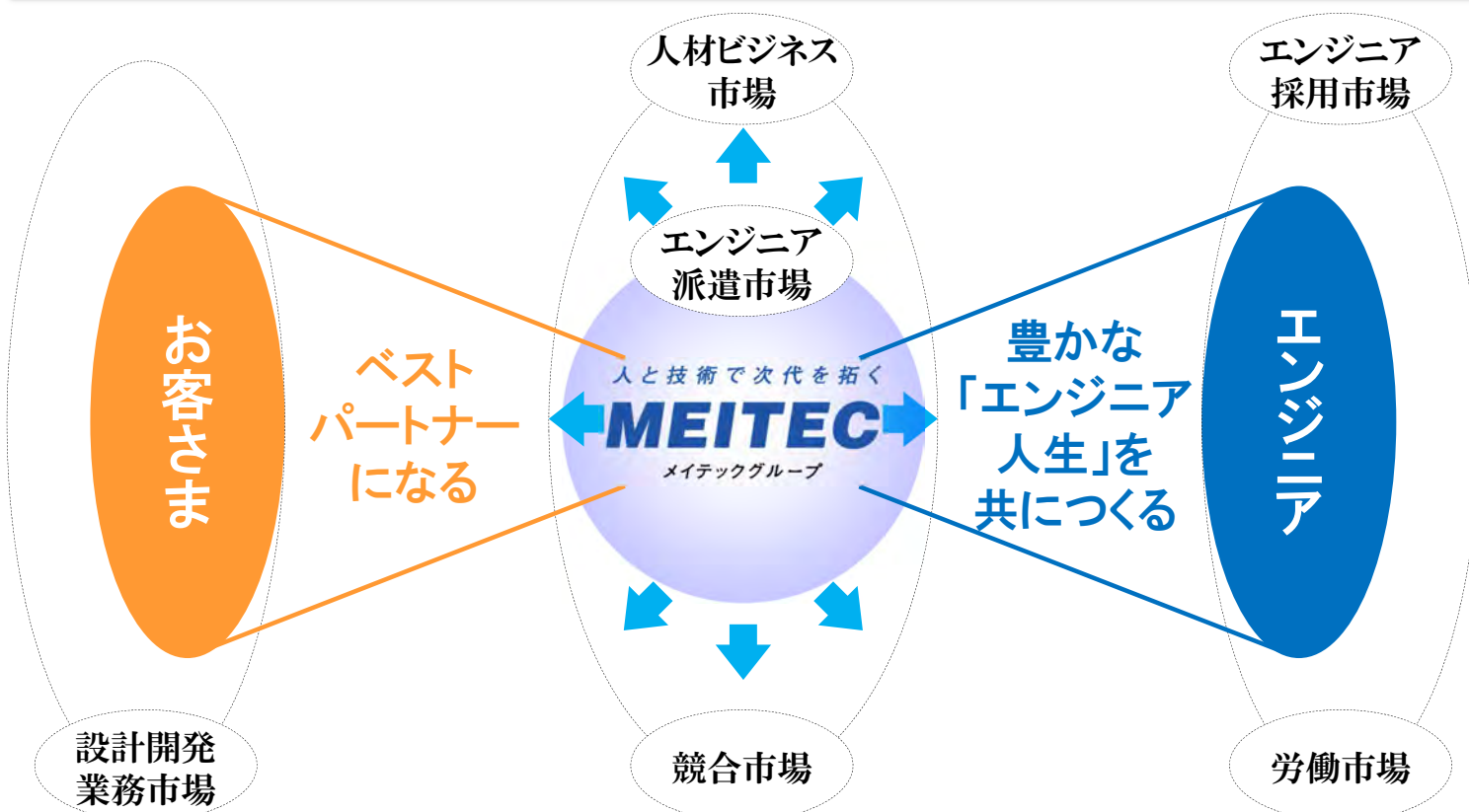
**エンジニア価値**  
豊かな「エンジニア人生」を目指す  
すべてのエンジニアに対して、  
最適な「機会と場」を  
提供し続けます

**社員価値**  
「自立と支えあい」に共感し、  
プロフェッショナルとして成長し続ける  
社員に対して、最適な「機会と場」を  
提供し続けます

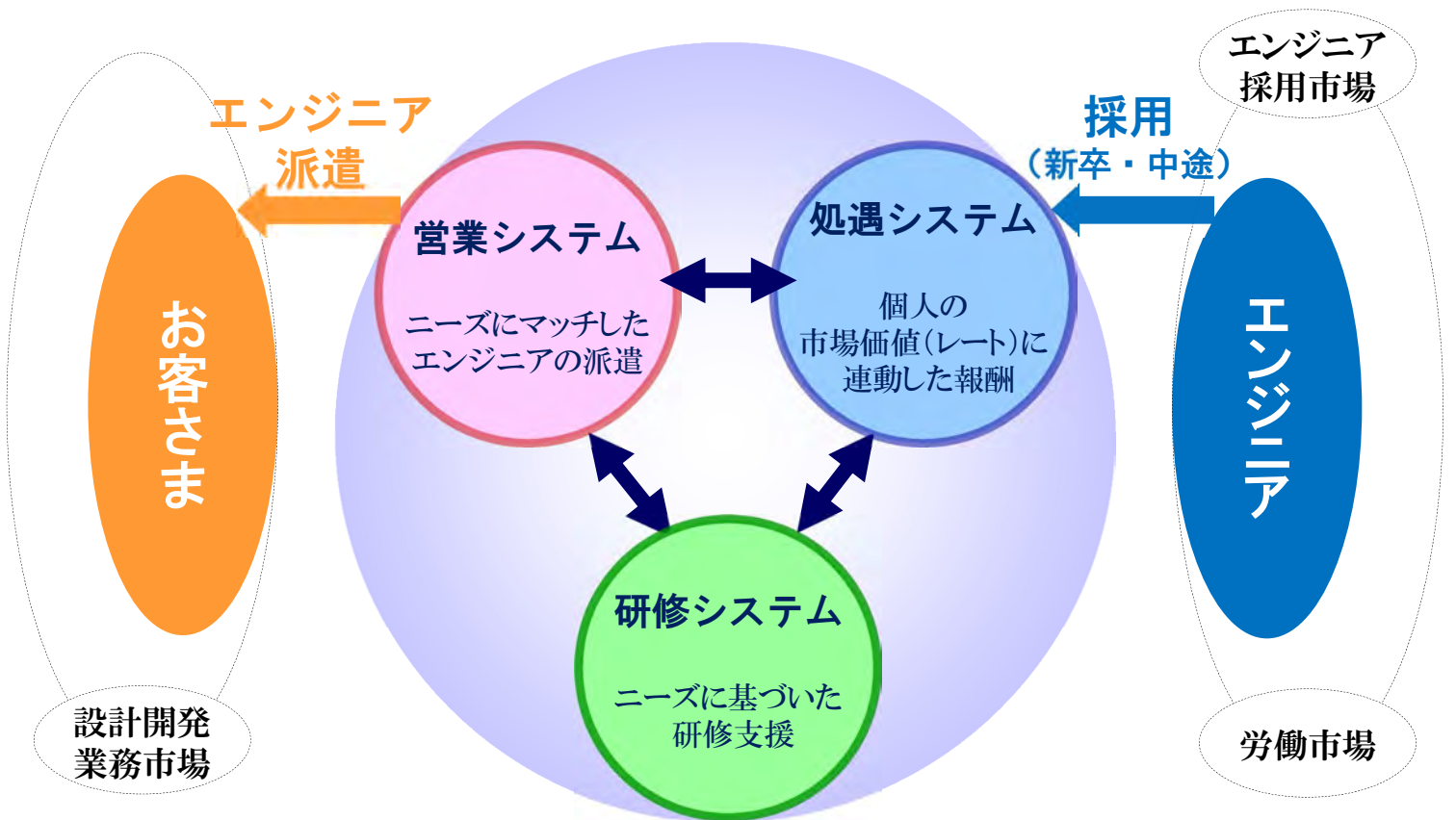
**株主価値**  
持続的な価値向上に基づく  
「健全な利益」を創出し、  
中長期的に株主還元を最大化します

**社会価値**  
生涯プロエンジニアという働き方の  
確立を通じて、日本に  
「プロフェッショナルな労働市場」を  
創り出す先駆者になります

✓ 経営理念・コーポレートスローガンの再確認、「目指すべき姿」の見直しを経て、  
グループによるサービス提供先への提供価値を明文化した事業方針を確定



# 技術者派遣事業のビジネスモデル

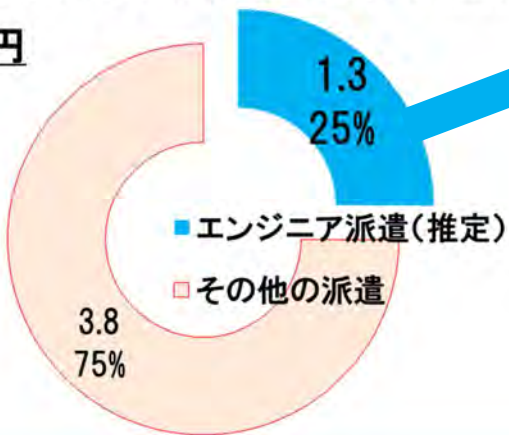


61

## エンジニア派遣市場(推定)

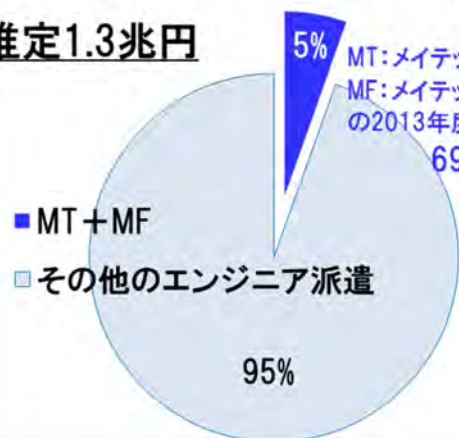
- ✓ エンジニア派遣市場のメイテックグループのシェアは推定5%強
- ✓ メイテックの時間単価の高さは突出 → エンジニアの「技術力×人間力」が高い

2013年度の労働者派遣事業・売上高  
5.1兆円



### エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円



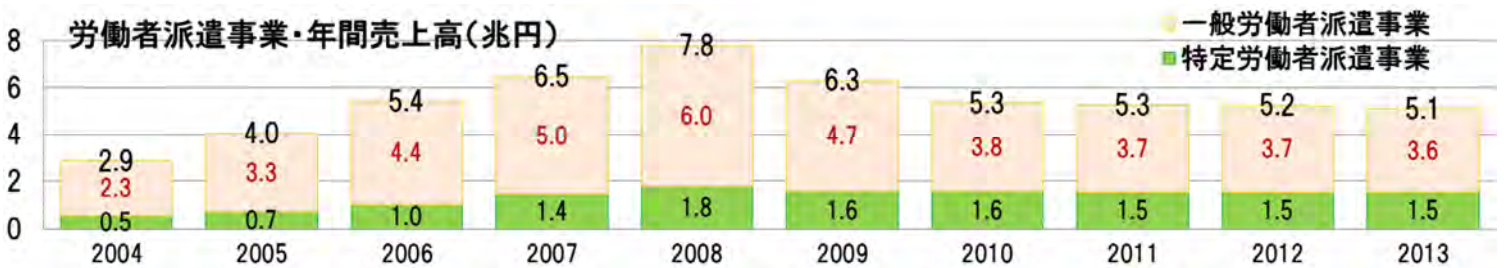
メイテック  
@¥5,004  
(2013年3月)

エンジニア派遣  
@¥3,480  
(推定)

特定派遣  
@¥2,960

一般派遣  
@¥2,127

### 労働者派遣事業・年間売上高(兆円)



出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

62

## 【連結】業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	71,255	79,120	83,223	82,229	82,102	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136
原価	49,648	54,460	56,685	57,701	57,777	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481
原価率	69.7%	68.8%	68.1%	70.2%	70.4%	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%
売上総利益	21,606	24,660	26,538	24,528	24,324	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,655
販売費及び一般管理費	9,339	12,371	14,053	12,946	12,959	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114
販管費率	13.1%	15.6%	16.9%	15.7%	15.8%	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%
営業利益	12,267	12,289	12,485	11,581	11,365	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540
営業利益率	17.2%	15.5%	15.0%	14.1%	13.8%	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%
営業外収益	106	87	137	74	84	87	4,729	2,146	114	97	50	113
営業外費用	90	185	59	169	115	107	77	178	32	24	51	10
経常利益	12,283	12,190	12,562	11,487	11,334	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643
経常利益率	17.2%	15.4%	15.1%	14.0%	13.8%	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%
特別利益	149	393	538	5	6	13	32	378	—	58	—	20
特別損失	477	2,682	2,235	5,092	1,826	1,094	130	234	4	215	146	3,621
税金等調整前純利益	11,955	9,900	10,866	6,400	9,514	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041
法人税等・少数株主損益	5,246	5,192	5,563	6,105	4,556	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381
当期純利益	6,709	4,707	5,302	295	4,958	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659
純利益率	9.4%	6.0%	6.4%	0.4%	6.0%	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%

63

## 〈メイテック〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	59,518	61,109	61,425	61,795	62,956	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675
原価	40,927	42,087	42,380	43,134	43,875	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857
原価率	68.8%	68.9%	69.0%	69.8%	69.7%	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%
売上総利益	18,591	19,021	19,045	18,660	19,081	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,818
販売費及び一般管理費	7,833	7,802	7,913	8,039	8,620	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891
販管費率	13.2%	12.8%	12.9%	13.0%	13.7%	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%
営業利益	10,757	11,219	11,131	10,621	10,460	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925
営業利益率	18.1%	18.4%	18.1%	17.2%	16.6%	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%
営業外収益	324	530	458	4,988	356	564	3,840	1,976	389	314	426	523
営業外費用	90	35	33	109	48	76	53	150	14	19	426	10
経常利益	10,991	11,714	11,556	15,500	10,768	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438
経常利益率	18.5%	19.2%	18.8%	25.1%	17.1%	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%
特別利益	61	525	102	5	3	7	2	3	—	462	—	324
特別損失	412	800	132	10,202	2,084	2,912	626	318	66	228	372	3,673
税金等調整前純利益	10,641	11,439	11,526	5,304	8,687	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089
税金費用など	4,597	4,586	4,706	5,388	3,749	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749
当期純利益	6,044	6,853	6,820	▲83	4,938	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340
純利益率	10.2%	11.2%	11.1%	▲0.1%	7.8%	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%

64

## 〈メイテックフィルダーズ〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高	8,692	9,729	10,382	10,748	10,747	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911
原価	6,428	7,234	7,655	7,888	7,759	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154
原価率	74.0%	74.4%	73.7%	73.4%	72.2%	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%
売上総利益	2,264	2,495	2,727	2,859	2,987	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757
販売費及び一般管理費	989	1,174	1,357	1,551	1,677	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682
販管費率	11.4%	12.1%	13.1%	14.4%	15.6%	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%
営業利益	1,275	1,321	1,369	1,308	1,310	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073
営業利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.2%	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%
営業外収益	5	6	3	3	10	6	848	182	3	3	1	—
営業外費用	—	—	—	1	1	—	5	1	—	—	15	—
経常利益	1,280	1,328	1,373	1,310	1,319	825	▲618	757	540	651	841	1,074
経常利益率	14.7%	13.6%	13.2%	12.2%	12.3%	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%
特別利益	88	5	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—
特別損失	64	—	3	4	5	13	2	1	—	—	—	5
税金等調整前純利益	1,304	1,333	1,376	1,306	1,314	811	▲620	756	540	651	841	1,068
税金費用など	562	544	560	537	544	344	313	▲187	264	272	358	420
当期純利益	742	789	816	768	769	467	▲933	943	275	378	483	648
純利益率	8.5%	8.1%	7.9%	7.1%	7.2%	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%

65

## 〈メイテックネクスト〉業績推移

(百万円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
売上高				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131
原価												
原価率												
売上総利益				8	252	480	334	438	593	734	872	1,131
販売費及び一般管理費				207	470	559	349	333	446	512	577	746
販管費率				2,587.5%	186.5%	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%
営業利益				▲198	▲217	▲78	▲14	104	147	221	295	385
営業利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%
営業外収益				—	—	—	2	2	—	—	—	—
営業外費用				—	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益				▲198	▲217	▲78	▲12	106	147	221	295	385
経常利益率				▲2,475.0%	▲86.1%	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%
特別利益				—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失				—	—	—	—	—	—	—	—	—
税金等調整前純利益				▲198	▲217	▲78	▲13	106	147	221	295	385
税金費用など				—	—	1	—	—	—	19	95	141
当期純利益				▲199	▲217	▲79	▲14	105	147	201	200	243
純利益率				▲2,487.5%	▲86.1%	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%

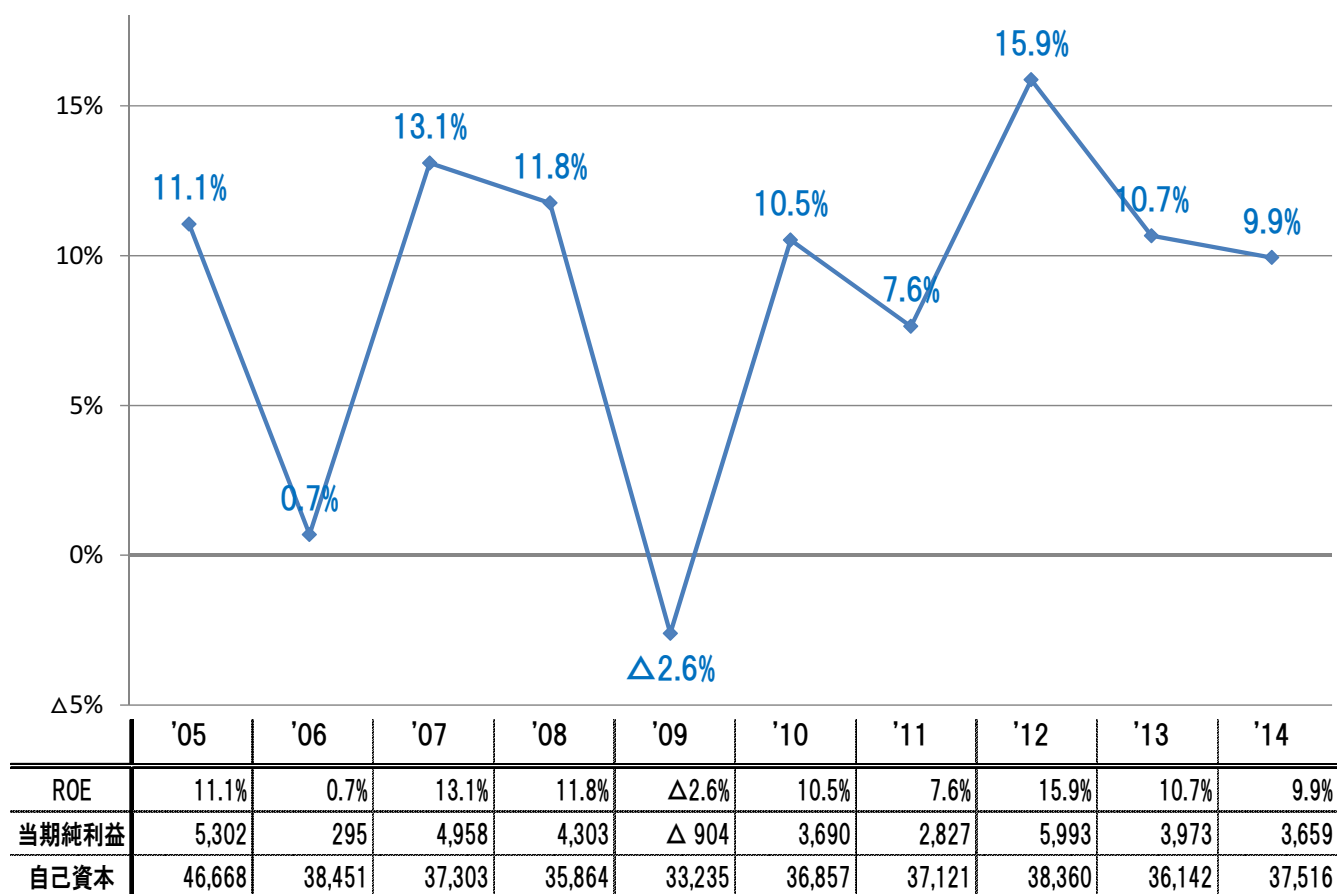
66



# 利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	実績 2014年度	予想 2015年度	
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	50.2%	
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%		
年間配当	1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥116.00
	金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	3,513
中間配当	1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥54.50
	金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	1,650
期末配当	1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥61.50
	金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	2,029	1,862
自己株式取得	株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641	269	
	金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	899	3,500
総利益配分額 (百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	7,013	
株式消却	株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	
株価	期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965
	期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥231.14	
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78		

## 連結自己資本当期純利益率:ROE



✓ 2015年5月12日時点。当社独自の委員会、独立役員5名、明快な役員報酬算定、等  
※詳細は、有価証券報告書、東京証券取引所宛提出済の報告書をご覧ください

## I. 会社の機関

1.組織形態 監査役設置会社

2.メイテック独自の仕組みとして、社外取締役を委員長とする下記2委員会を設置

(1)コーポレートガバナンス委員会

目的：コーポレートガバナンス・社会的責任体制の強化

(2)CEO指名委員会

目的：メイテックグループCEOの最適格者を客観的に協議・選考

## II. 取締役・監査役・執行役員

	人数	うち 社外	うち 独立役員	定款上の 員数
取締役	9	2	2	22
監査役	3	3	3	4
合計	12	5	5	26

	人数	うち 取締役兼務	男性	女性
執行役員	12	5	11	1

注：代表取締役社長・CEO兼COOの1名を含む

## III. 役員報酬の算定方法

- ✓ 決定プロセスの公開により、経営の透明化を高める
- ✓ 役員報酬の業績連動率を高める

1.個別報酬		月額	
CEO		月額	3,000千円以内
COO		月額	2,500千円以内
取締役		月額	2,000千円以内
社外取締役		月額	500千円以内
常勤監査役		月額	2,000千円以内
非常勤監査役		月額	500千円以内

### 2.業績連動役員報酬

連結当期純利益(業績連動役員報酬を含まない)金額の2%に相当する金額の100万円以下を切り捨てた金額を業績連動役員報酬の総額(うち社外取締役は1名あたり600万円以内)とし、各取締役の個別業績に基づき分配

- 役員退職慰労金制度は廃止済
- 監査役に業績連動役員報酬は支給しない、
- その他条件など是有価証券報告等をご覧ください

## IV. その他

- ◆ 買収防衛策は導入していません
- その他、取締役会で決議できる株主総会決議事項、など是有価証券報告等をご覧ください

69

# 株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2015年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	5	0.1%	933,501	2.9%
信託銀行	17	0.3%	8,834,500	27.5%
生保・損保会社	18	0.3%	3,635,483	11.3%
証券金融・その他金融会社	4	0.1%	12,960	0.1%
証券会社	30	0.5%	350,819	1.1%
事業会社・その他法人	96	1.6%	256,672	0.8%
外国法人・外国人	180	3.0%	12,847,484	39.9%
個人その他	5,591	94.1%	5,328,581	16.6%
合計	5,941	100%	32,200,000	100%

70

本 社	東京都港区赤坂
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックフィルダーズ</li> <li>■ 株式会社メイテックキャスト</li> <li>■ 株式会社メイテックEX</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社メイテックネクスト</li> <li>■ 株式会社all engineer.jp</li> <li>■ 明達科(上海)科技有限公司</li> <li>■ 明達科(上海)人才服务有限公司</li> </ul> <p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アポロ技研株式会社</li> </ul> </div> </div>

人と技術で次代を拓く

# MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。